

**第6次草津市総合計画
第2期基本計画策定
転出入者アンケート調査報告書**

令和6年7月
草津市

目 次

I 調査概要 1

1 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象および調査方法	1
(3) 回収結果	1
(4) 調査内容	1
2 本調査報告書の基本的な事項	2
(1) 数値の基本的な取り扱いについて	2
(2) 前回調査について	2

II 調査結果 3

1 転入・転出について	3
(1) 転入・転出区分	3
(2) 転入・転出理由	4
2 世帯情報について	9
(1) 世帯主の年齢	9
(2) 世帯の型	11
(3) お住まいの小学校区	15
3 転入者について	17
(1) 草津市以外の転入先の検討	17
(2) 草津市での居住年数予定	20
4 転出者について	22
(1) 草津市内の転出先の検討	22
(2) 将来の居留意向	24
5 居住地の選択について	26
(1) 居住地域を決める際に考慮した点	26
6 今後の草津市への期待について	29
(1) 草津市に期待する分野	29
(2) まちづくりについてのアイデア等（自由記述）	31
7 自由記述	33
8 調査結果のまとめ	35

III 調査票 39

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和3（2021）年度の「第6次草津市総合計画 第1期基本計画」計画期間終了を控え、令和7（2025）年度から令和10（2028）年度までを計画期間とする「第2期基本計画」の策定に向けて、本市へ転出入してきた方を対象に、転出入のきっかけや本市への転出入の決め手等の理由、市政に対する御意見等をお聞かせ頂くことで市民の皆様の声を総合計画策定のための基礎資料とするために実施しました。

(2) 調査対象および調査方法

項 目	内 容
調 査 対 象	草津市内への転入者・転出者
調 査 方 法	窓口でアンケートを配布し、庁内に設置した回収箱にて回収
調 査 時 期	令和6年2月7日～令和6年5月31日

(3) 回収結果

回 収 数	411
-------	-----

※回収数：全回答が無回答の場合も含む。

(4) 調査内容

分 野	内 容
転入転出区分	転入・転出、その理由
世 帯 情 報	世帯主の年齢、世帯形態、居住地区（小学校区）
転 入 者	他市町村の検討、居住予定年数
転 出 者	草津市内の転出先検討、将来の居留意向
居住地の選択	居住地域の決め手となった主な理由
草津市への期待	草津市に期待する分野 まちづくりについてのアイデア等（自由記述）
自 由 記 述	その他の意見

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない場合があります。
- ②基数となるべき実数(回答者数)は、“n = ○○○”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③クロス集計表の表側(属性)は、「不明・無回答」を除いているため、各属性の実数と集計対象総数が一致しない場合があります。
- ④複数回答の設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い設問であることから、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ⑤文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現している場合があります。
- ⑥調査対象者の属性は、調査票記入時点の年齢で集計してあります。

(2) 前回調査について

前回アンケートは令和元年5月13日～7月12日の期間に本市に転入してきた873世帯のうち、回答が得られた473世帯の回答を集計したものです。

II 調査結果

II 調査結果

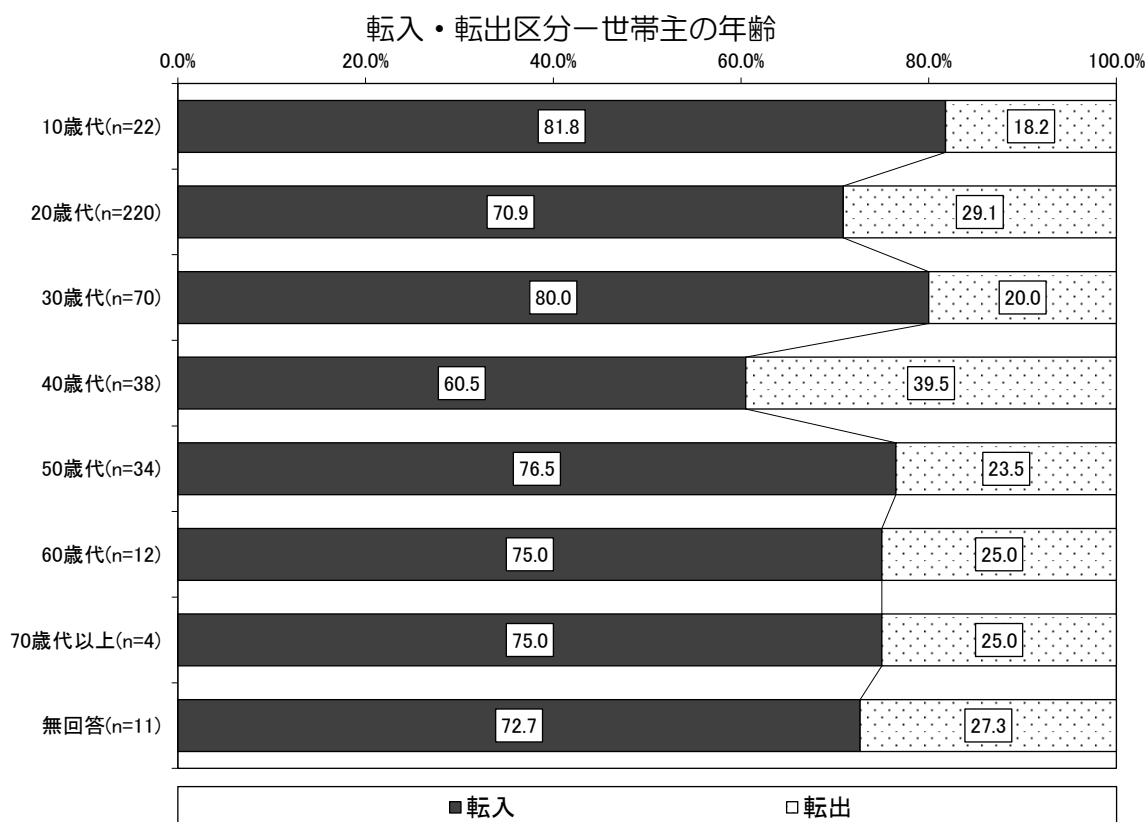
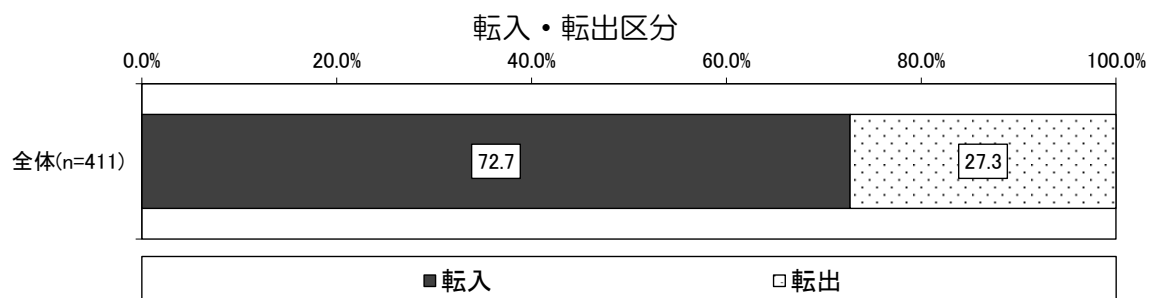
1 転入・転出について

(1) 転入・転出区分

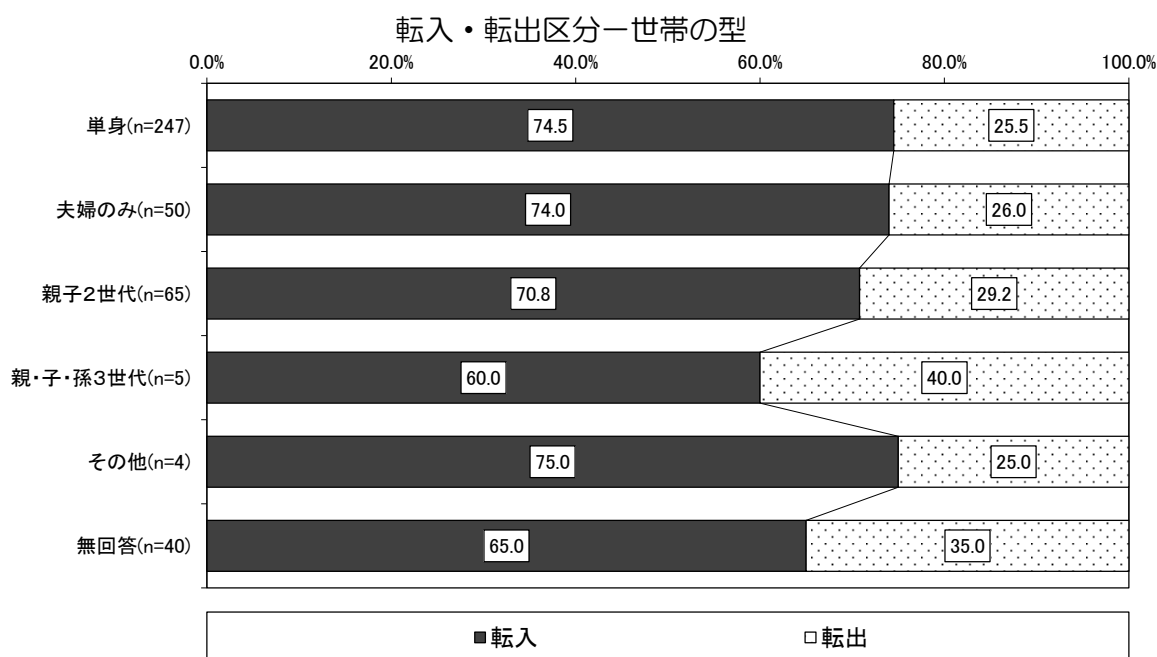
問1 転入・転出について、あてはまる方に○をしてください。

転入・転出については、「転入」が72.7%、「転出」が27.3%となっています。

世帯主の年齢で見ると、「10代」、「30代」で転入が多く、「40代」では転出が多くなっています。



世帯の型でみると、「単身」、「夫婦のみ」、「親子2世代」で転入が多くなっています。

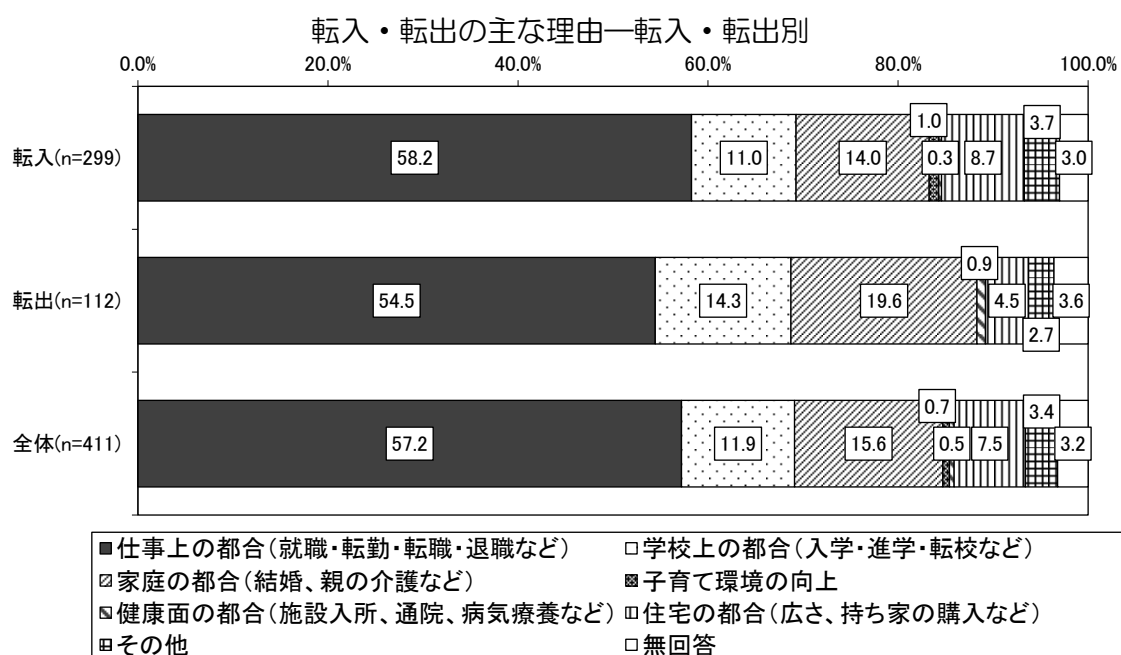


(2) 転入・転出理由

問2 転入・転出の主な理由は何ですか。(あてはまる番号 1 つに○)

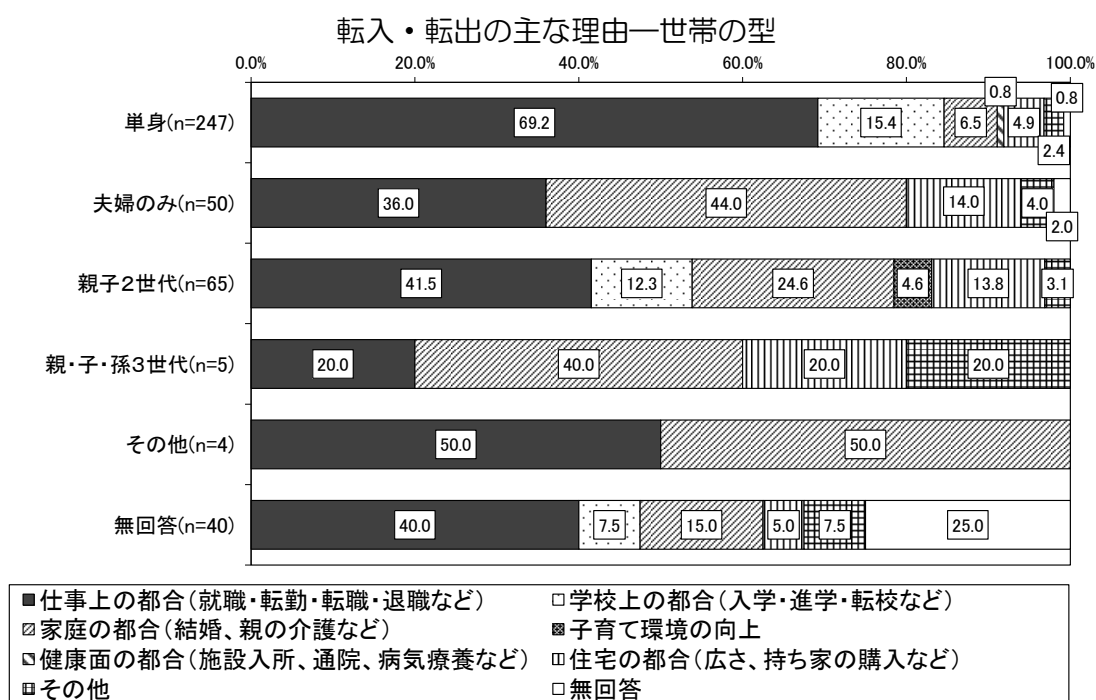
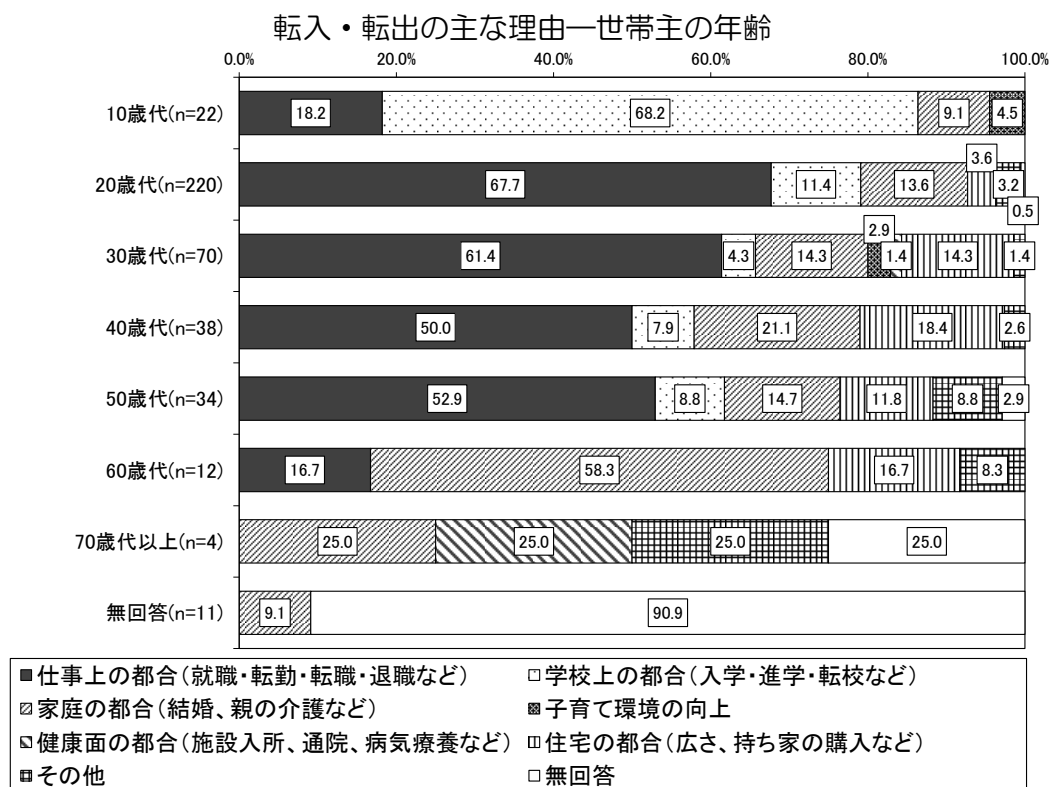
転入・転出理由については、「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が 57.2%と最も多く、次いで「家庭の都合（結婚、親の介護など）」(15.6%)、「学校上の都合（入学・進学・転校など）」(11.9%)、などの順となっています。

転入・転出別にみると、転入・転出理由の上位項目は同じ傾向となっています。



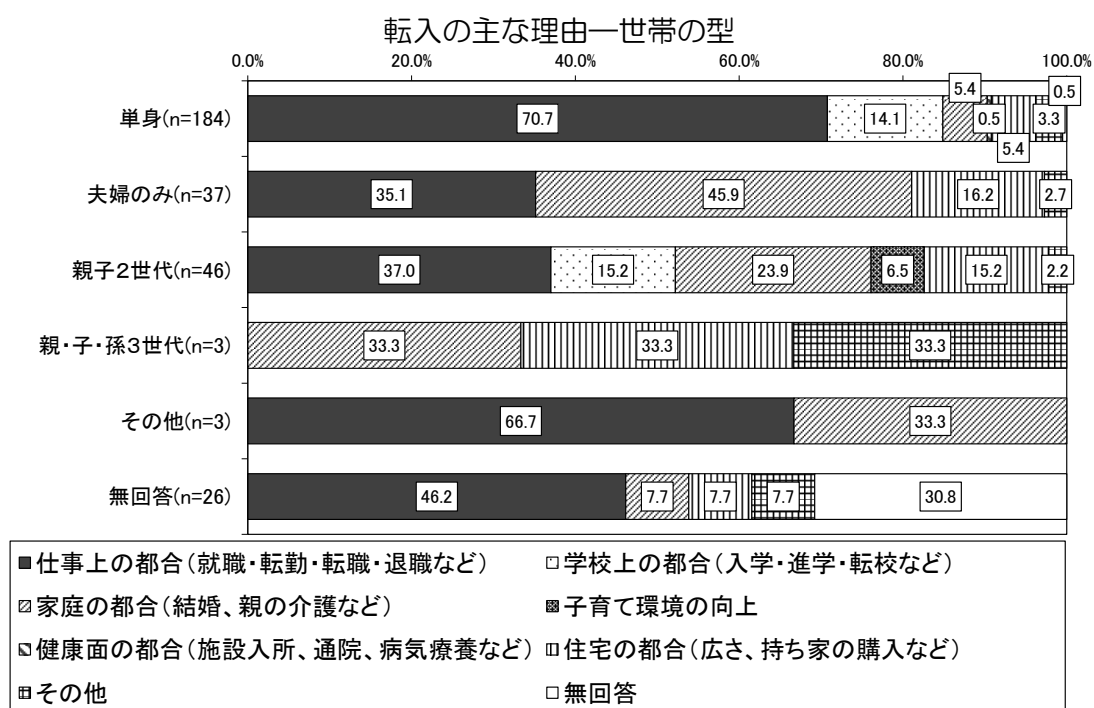
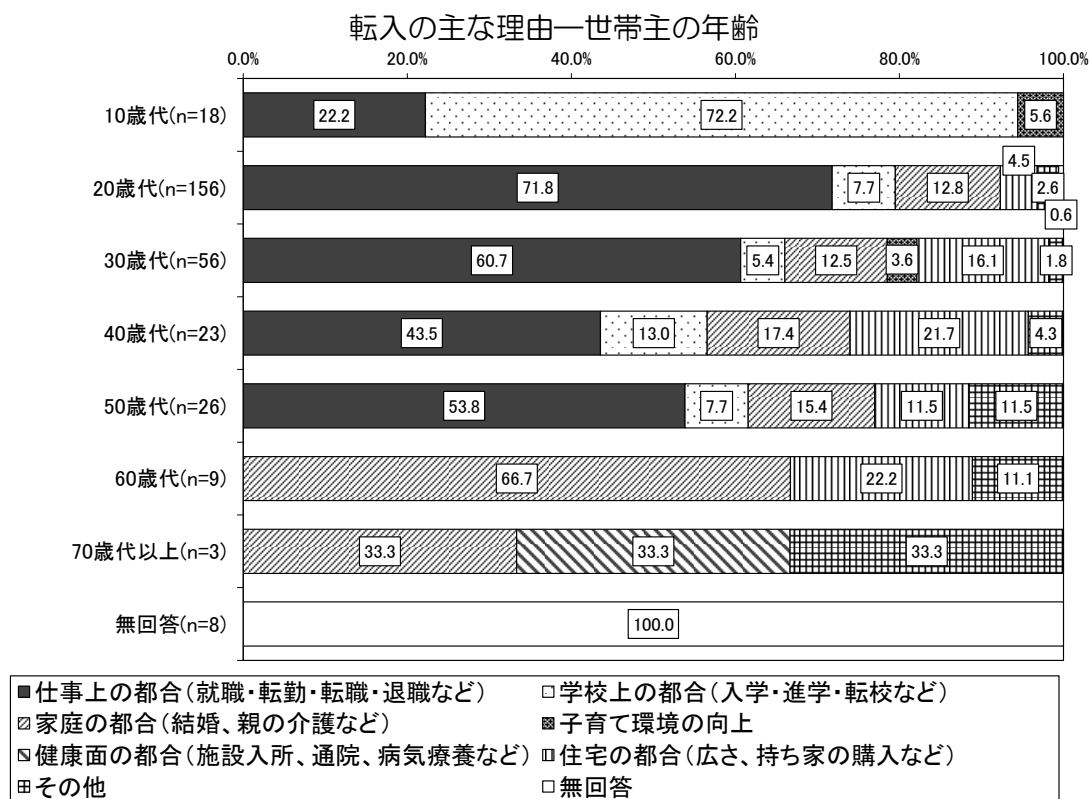
世帯主の年齢でみると、「20 歳代」、「30 歳代」では「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が多く、「10 歳代」では「学校上の都合（入学・進学・転校など）」が多くなっています。

世帯の型にみると、「単身」、「親子2世代」では「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が多く、「夫婦のみ」では「家庭の都合（結婚・親の介護など）」が多くなっています。



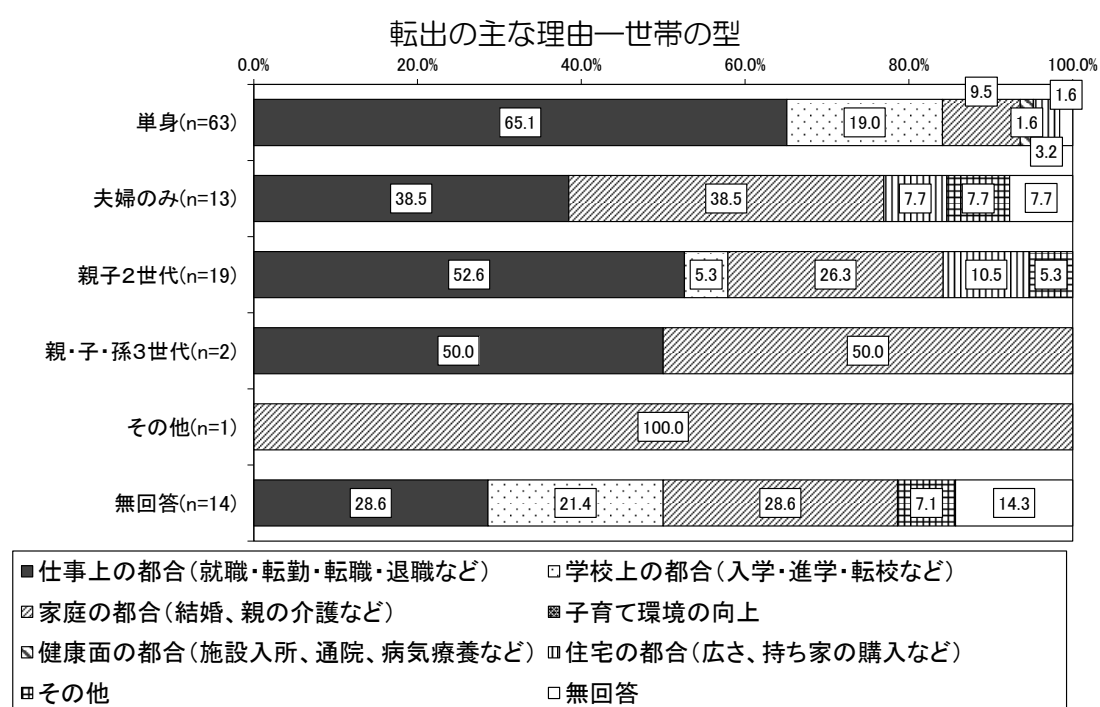
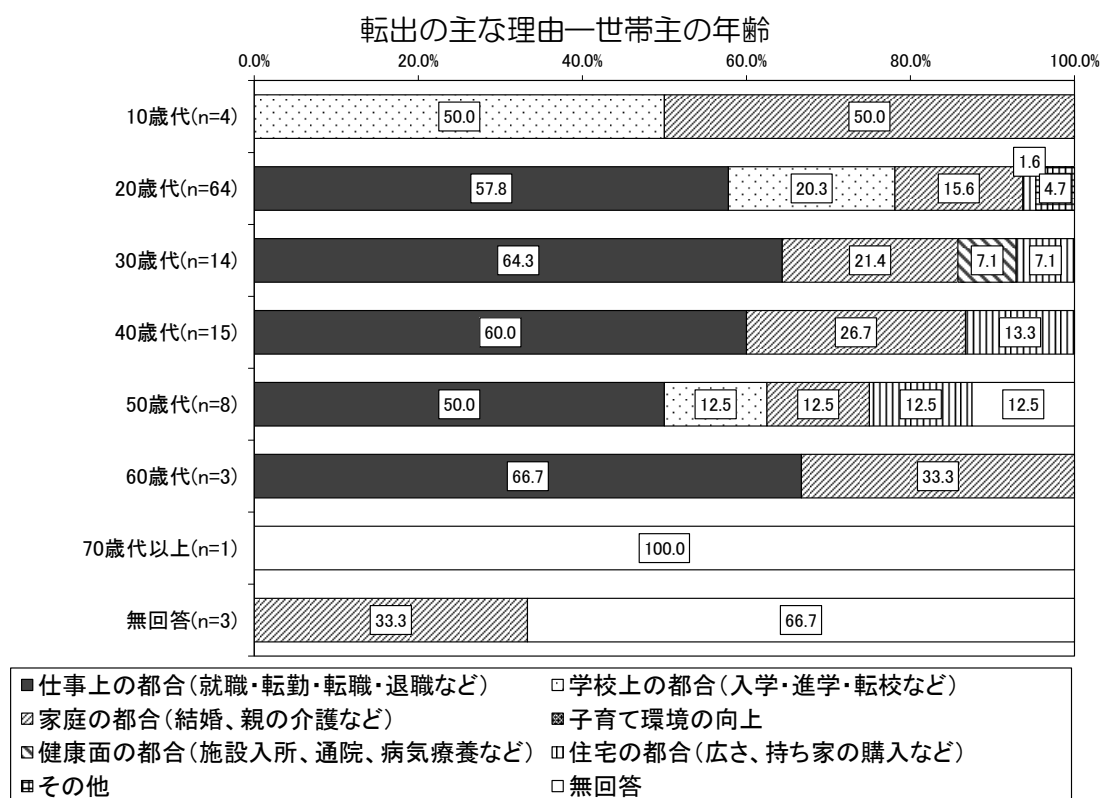
転入の主な理由を世帯主の年齢でみると、「20 歳代」、「30 歳代」では「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が多く、「10 歳代」では「学校上の都合（入学・進学・転校など）」が多くなっています。

世帯の型にみると、「単身」では「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が多く、「夫婦のみ」では「家庭の都合（結婚・親の介護など）」が多くなっています。

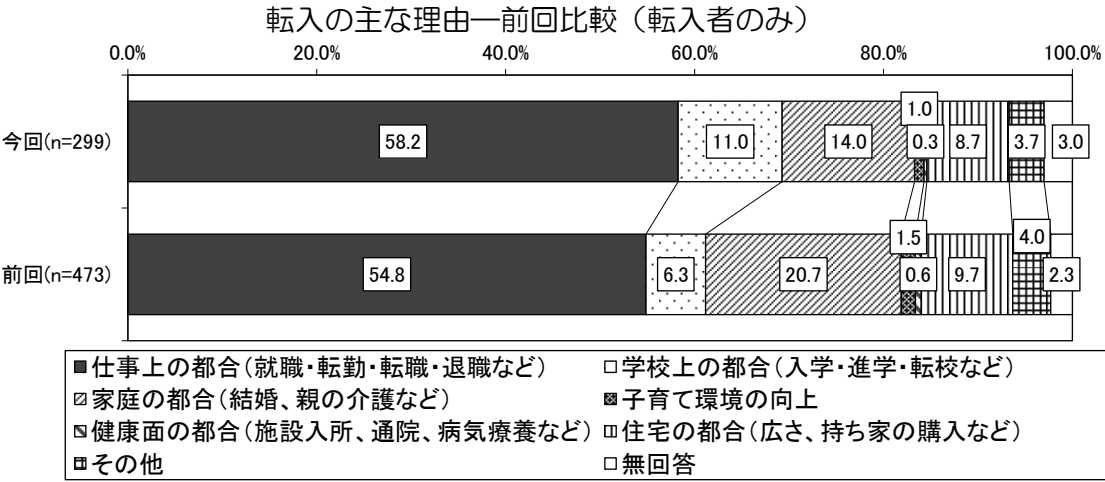


転出の主な理由を世帯主の年齢でみると、「20 歳代」～「60 歳代」では「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が多く、「10 歳代」では「学校上の都合（入学・進学・転校など）」、「家庭の都合（結婚・親の介護など）」が多くなっています。

世帯の型にみると、「単身」、「親子2世代」では「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が多く、「夫婦のみ」では「家庭の都合（結婚・親の介護など）」が多くなっています。



前回調査と比較すると、「仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など）」が 3.4 ポイント、「学校上の都合（入学・進学・転校など）」が 4.7 ポイント増加し、「家庭の都合（結婚、親の介護など）」が 6.7 ポイント減少しています。



2 世帯情報について

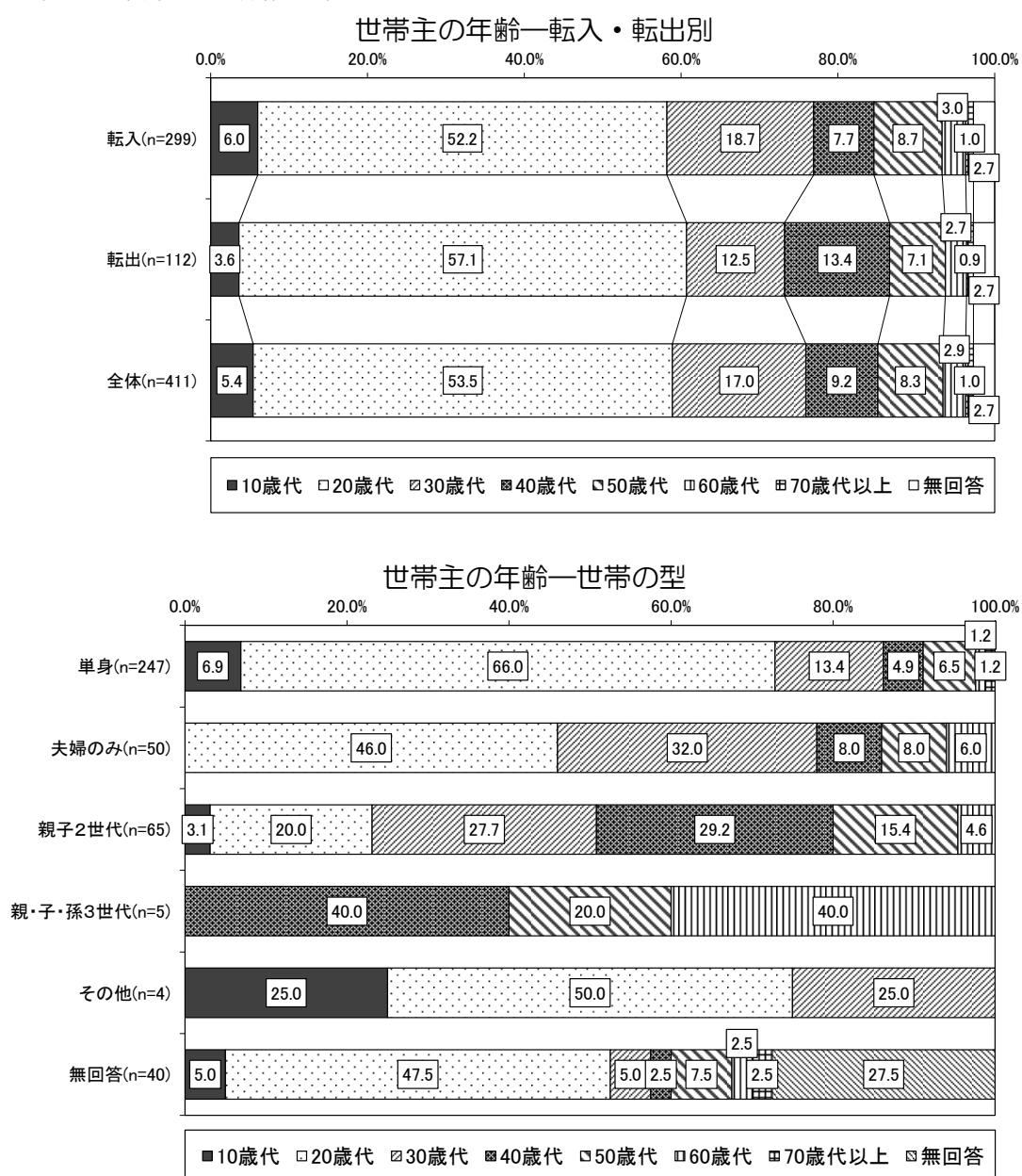
(1) 世帯主の年齢

問3 世帯主様（世帯を代表される方）の年齢をお聞きします。
（あてはまる番号1つに○）

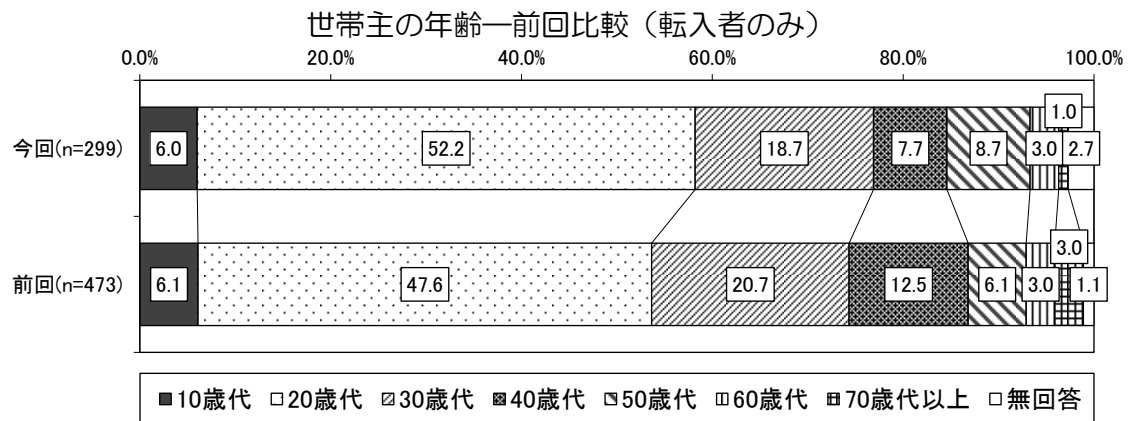
世帯主の年齢構成については、「20歳代」が53.5%と最も多く、次いで「30歳代」（17.0%）、「40歳代」（9.2%）、「50歳代」（8.3%）、「10歳代」（5.4%）の順となっています。

転入者と転出者を比較すると、「20歳代」、「40歳代」では転出者が多く、「30歳代」では転入者が多い傾向にあります。

単身世帯、夫婦のみ世帯では20歳代の世帯主が最も多く、親子2世代世帯では、世帯主の年齢は40歳代が多くなっています。



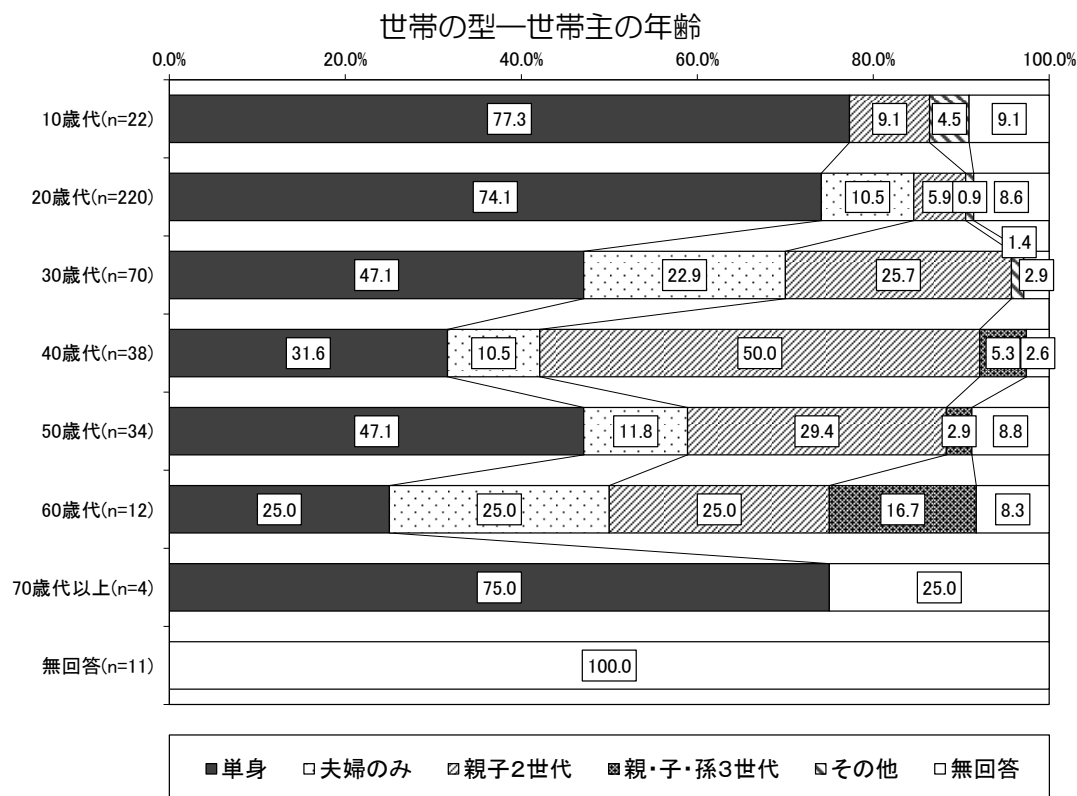
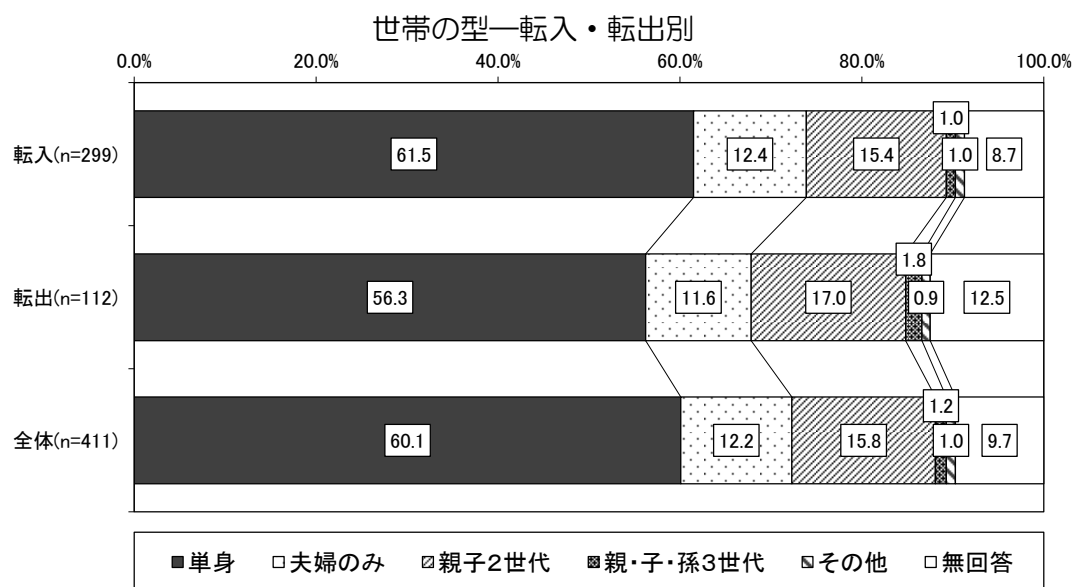
転入者について、前回調査と比較すると、「20 歳代」が 4.6 ポイント増加し、「30 歳代」が 2.0%、「40 歳代」が 4.8 ポイント減少しています。



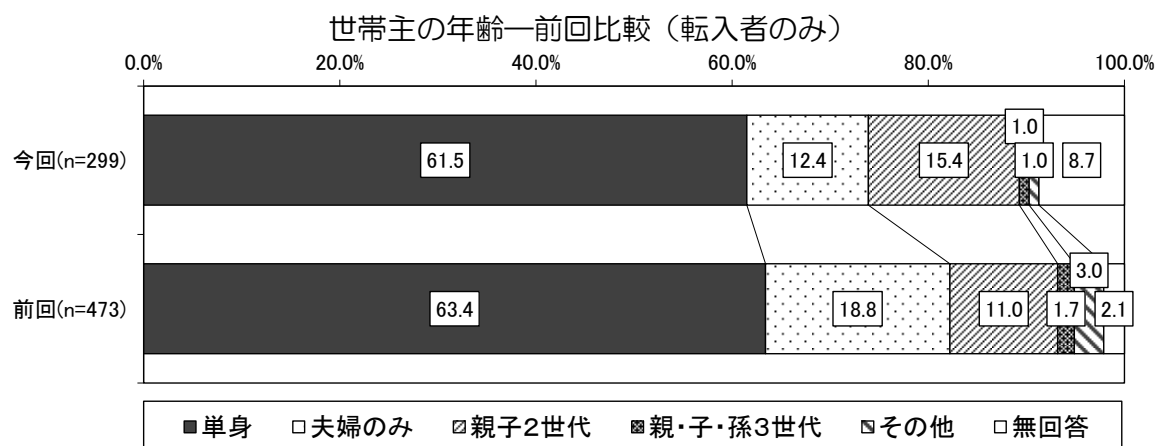
(2) 世帯の型

問4 世帯の型は次のどれですか。(あてはまる番号 1 つに○)

世帯の型については、「単身」が60.1%と最も多く、次いで「親子2世代」(15.8%)、「夫婦のみ」(12.2%)の順となっています。転入・転出別にみると、世帯の型の上位項目は同じ傾向となっています。



前回調査と比較すると、「親子2世代」が4.4ポイント増加し、「夫婦のみ」が6.4ポイント減少しています。



■ 「その他」の意見

同居(2)
姉妹

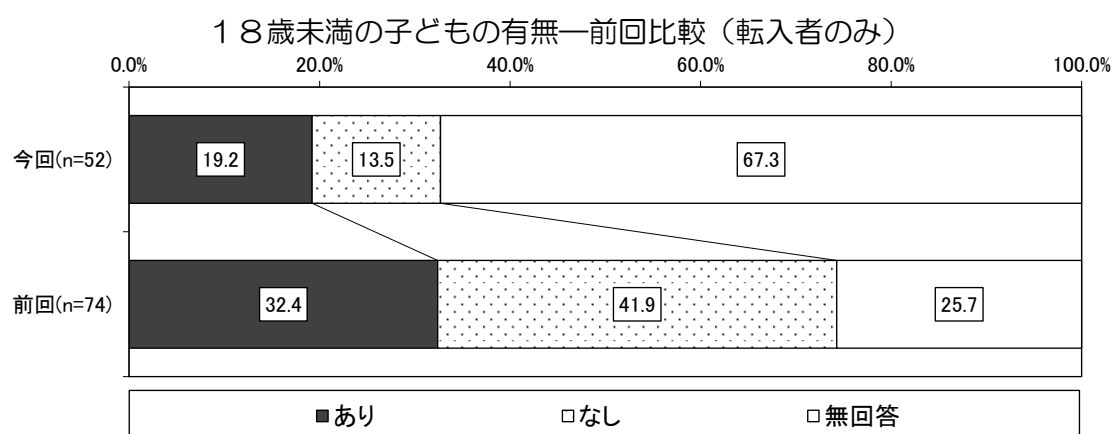
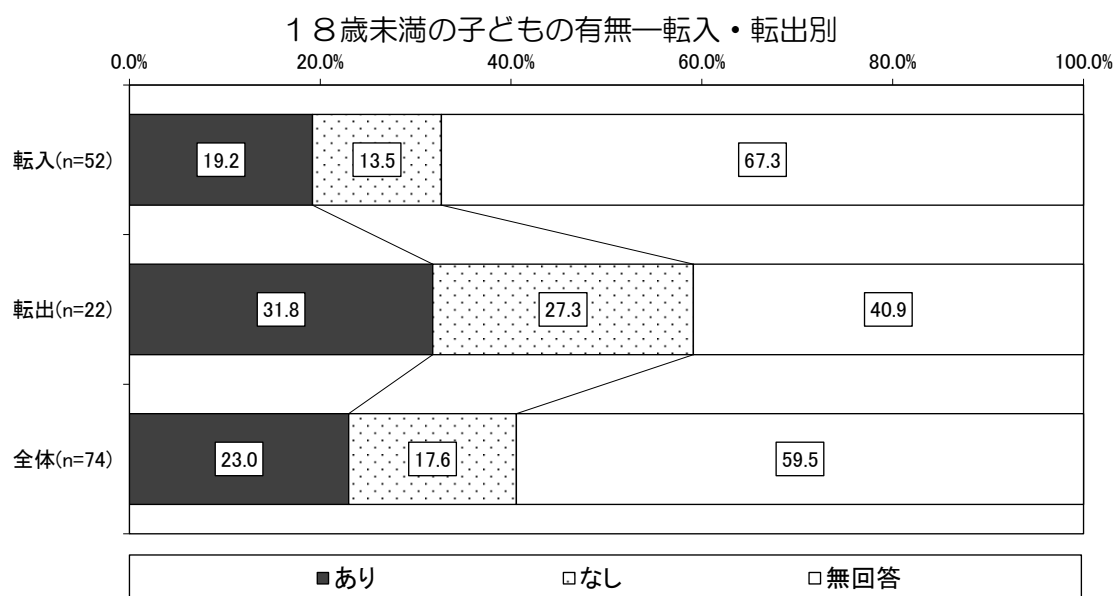
● 「3 親子2世代」、「4 親・子・孫3世代」、「5 その他」を選択した方

問4 同居の18歳未満の子どもの有無をお答えください。

同居している18歳未満の子どもの有無については、「あり」が23.0%、「なし」が17.6%となっています。

転入・転出別にみると、いずれも18歳未満の子どもがいる割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、傾向が変わり18歳未満の子どもの有無について、「あり」が「なし」を上回る結果となっています。

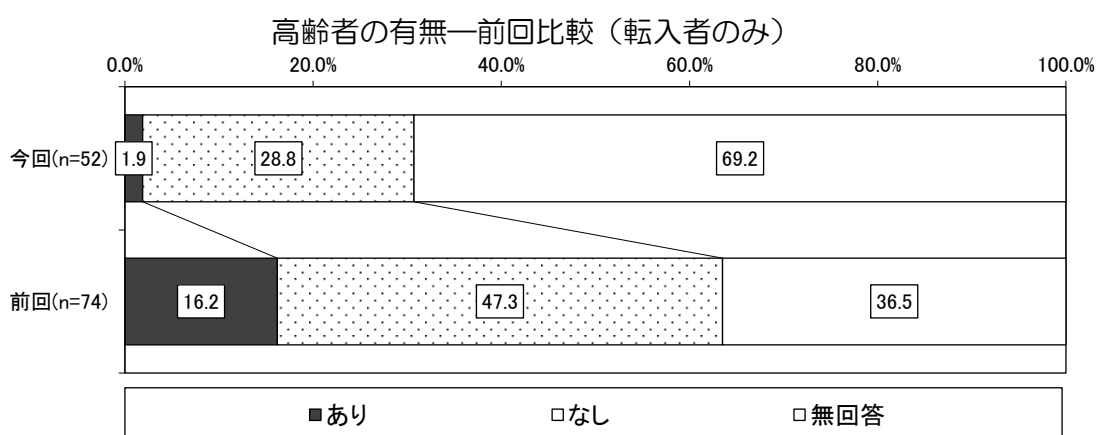
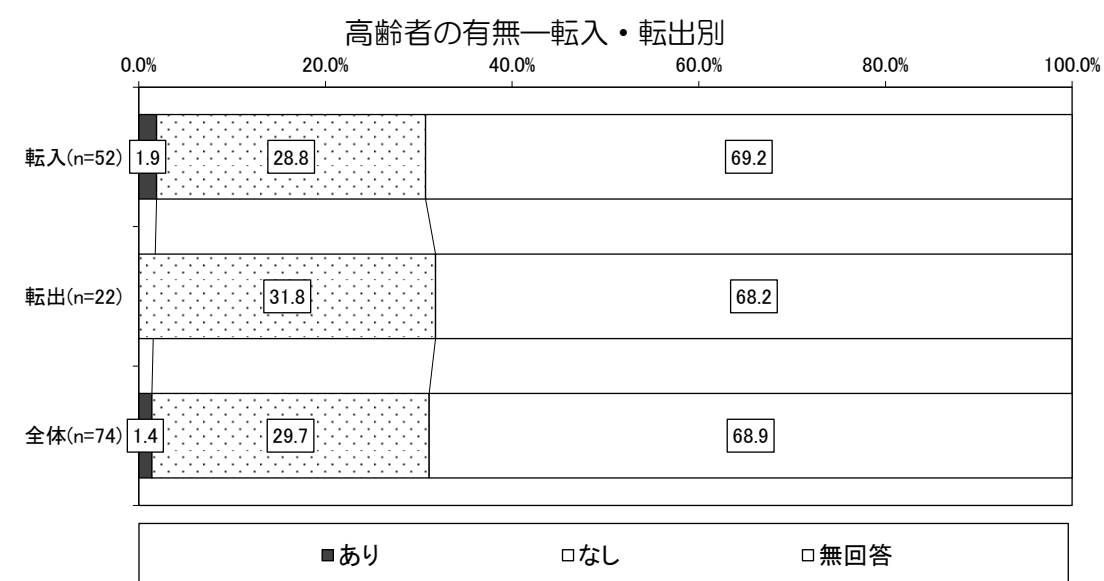


●問 4 で「3 親子2世代」、「4 親・子・孫3世代」、「5 その他」を選択した方

問 4 同居の高齢者の有無をお答えください。

同居している高齢者の有無については、「あり」が1.4%、「なし」が29.7%となっています。転入・転出別にみると、いずれも高齢者がいない割合が高くなっています。

前回調査と比較すると、前回と同様に、同居する高齢者がいない割合が高い傾向となっています。

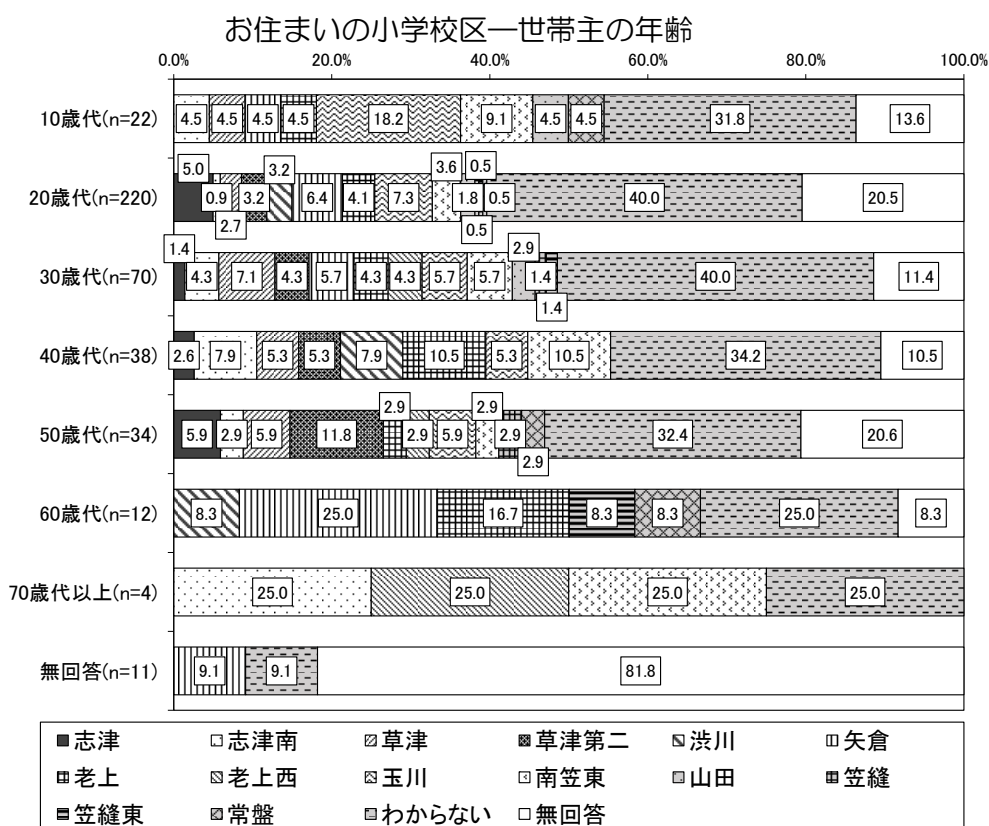
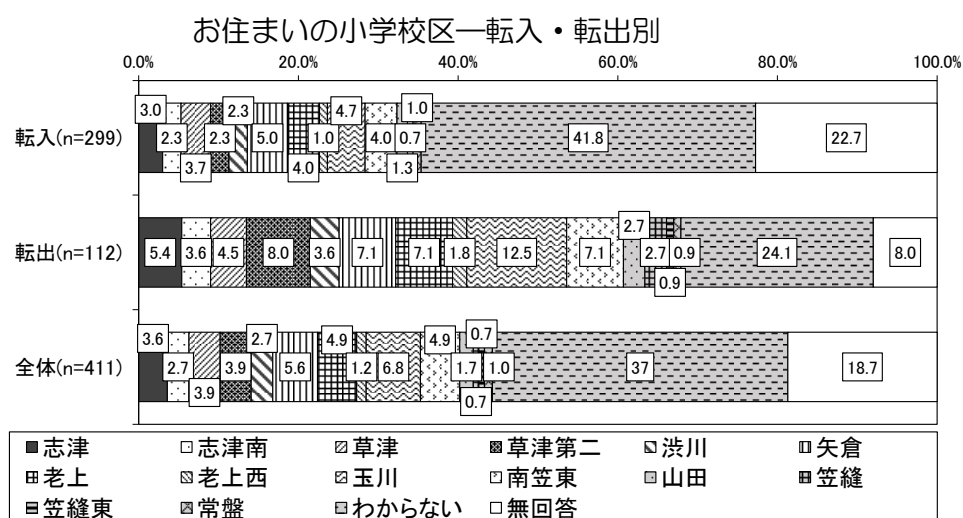


(3) お住まいの小学校区

問5 お住まいのある、または、お住まいになられていた小学校区はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

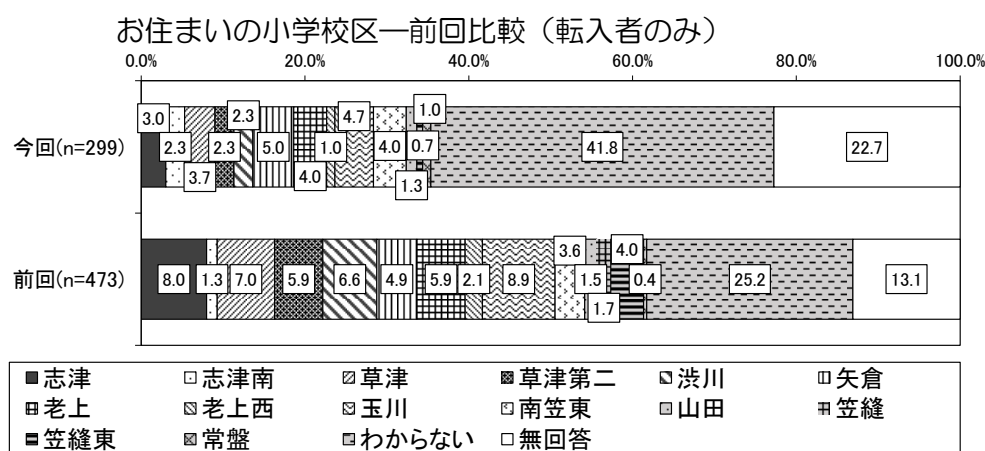
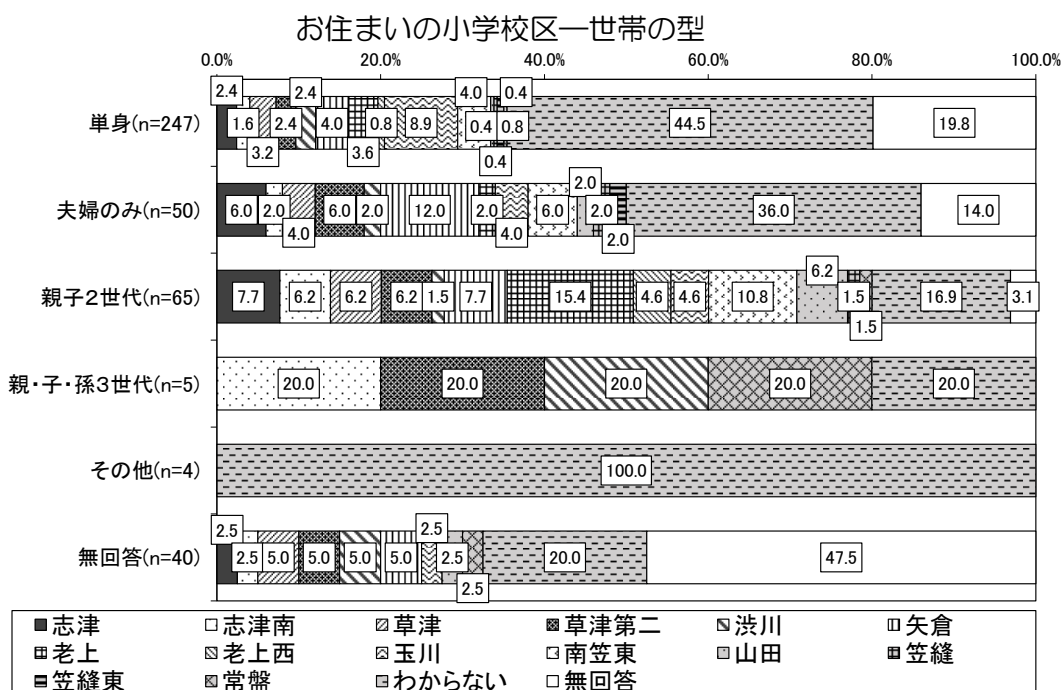
お住まいの小学校区については、「玉川小学校区」(6.8%)、「矢倉小学校区」(5.6%)、「老上小学校区」(4.9%)、「南笠東小学校区」(4.9%)などの順となっています。

世帯主の年齢でみると、「10歳代」では「玉川小学校区」、「50歳代」では「草津第2小学校区」が多くなっています。



世帯の型でみると、「単身」では玉川小学校区、「夫婦のみ」では矢倉小学校区、「親子2世代」では老上小学校区が多くなっています。

前回調査と比較すると、「わからない」、「無回答」が大幅に増加しています。



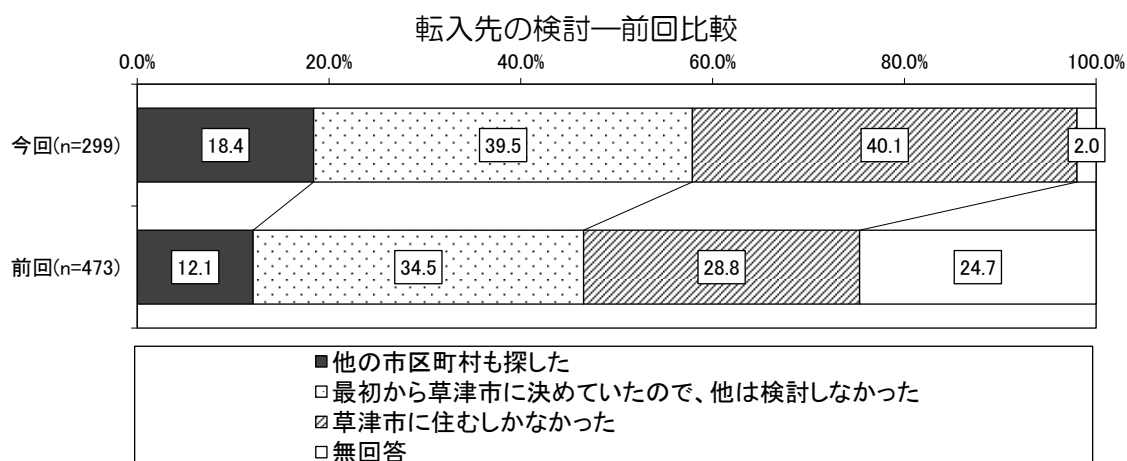
3 転入者について

(1) 草津市以外の転入先の検討

問 6 転入先として草津市以外の市区町村も検討されましたか。
(あてはまる番号 1 つに○)

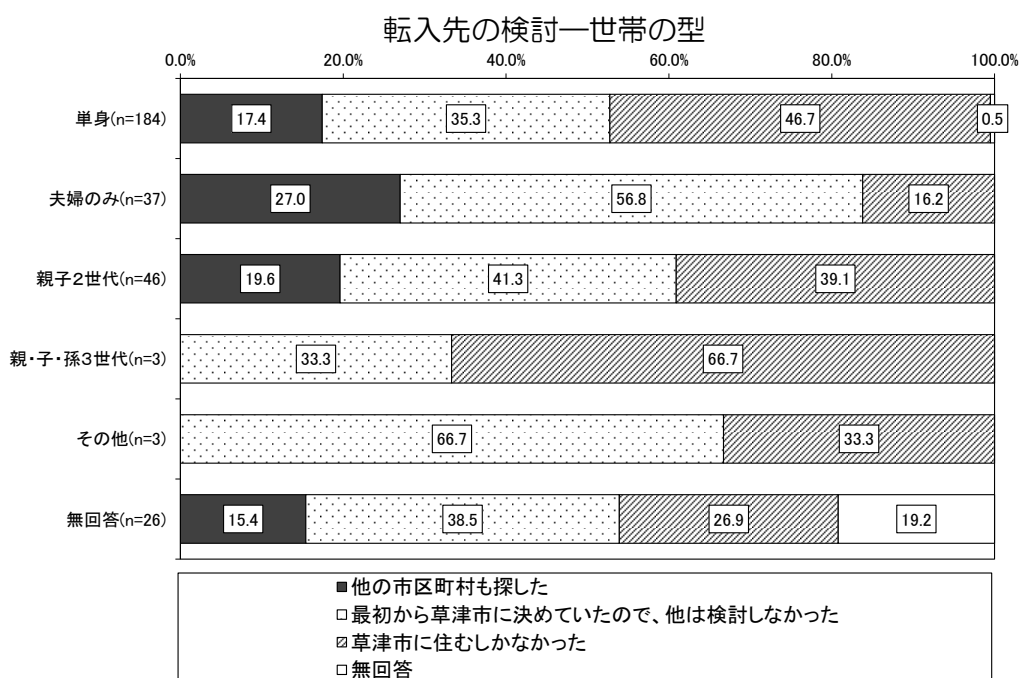
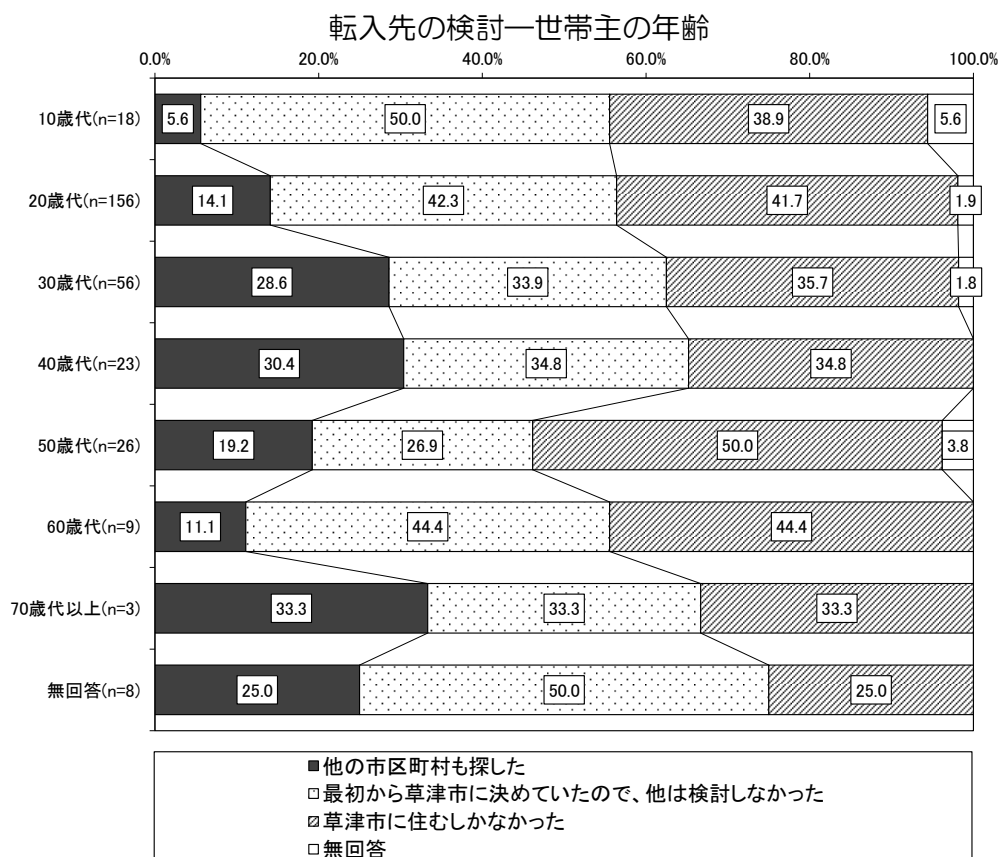
転入先の検討については、「草津市に住むしかなかった」が 40.1%と最も多く、「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」(39.5%)、「他の市区町村も探した」(18.4%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「草津市に住むしかなかった」(11.3 ポイント)、「他の市区町村も探した」(6.3 ポイント)、「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」(5.0 ポイント)が増加しています。



世帯主の年齢でみると、「10 歳代」と「20 歳代」では「最初から草津市に決めていた」ので、他は検討しなかった」が多くなっています。また、「30 歳代」と「40 歳代」は「他の市町村も探した」が他の年代よりも多くなっています。

世帯の型でみると、「夫婦のみ」と「親子 2 世代」では「最初から草津市に決めていた」ので、他は検討しなかった」が多く、「単身」では「草津市に住むしかなかった」が最も多くなっています。



●「1 他の市区町村も探した」を選択した方

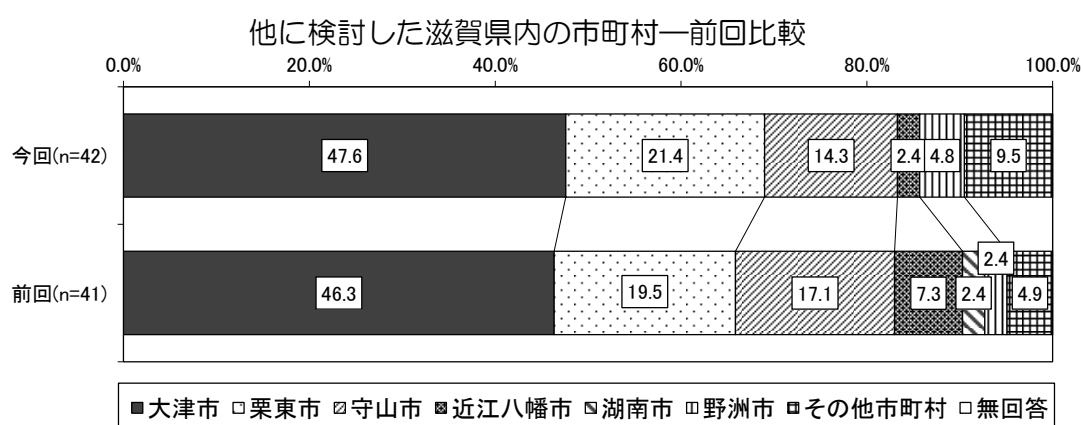
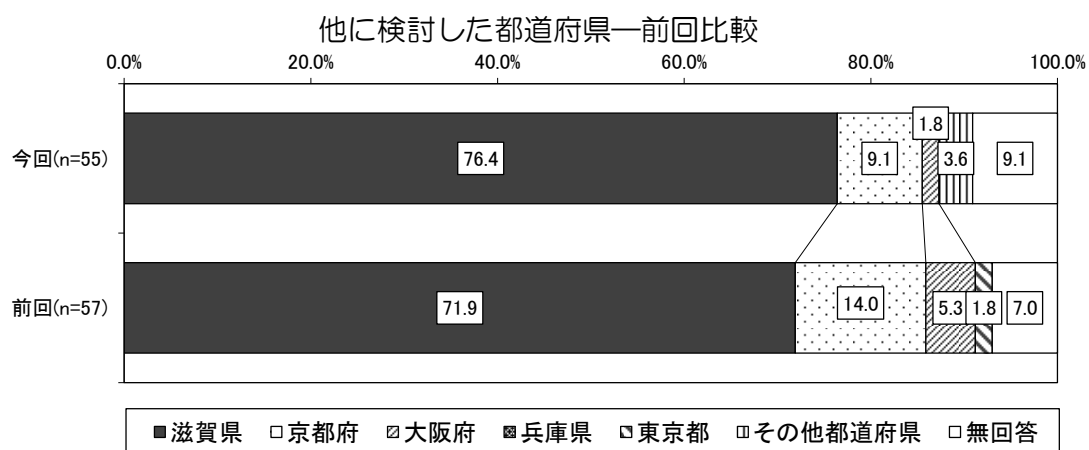
問 6 草津市以外で検討した都道府県・市区町村

他に検討した都道府県としては、「滋賀県」が76.4%と最も多く、次いで「京都府」(9.1%)、「其他都道府県」(3.6%)、「大阪府」(1.8%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「滋賀県」が4.5ポイント増加しています。

他に検討した市町村としては、「大津市」が47.6%と最も多く、「栗東市」(21.4%)、「守山市」(14.3%)、「其他市町村」(9.5%)、「野洲市」(4.8%)、「近江八幡市」(2.4%)の順となっています。

前回調査と比較すると、他に検討した市町村としては、「野洲市」(2.4ポイント)、「栗東市」(1.9ポイント)、「大津市」(1.3ポイント)が増加し、「近江八幡市」(4.9ポイント)、「湖南市」(2.4ポイント)、「守山市」(2.8ポイント)減少しています。

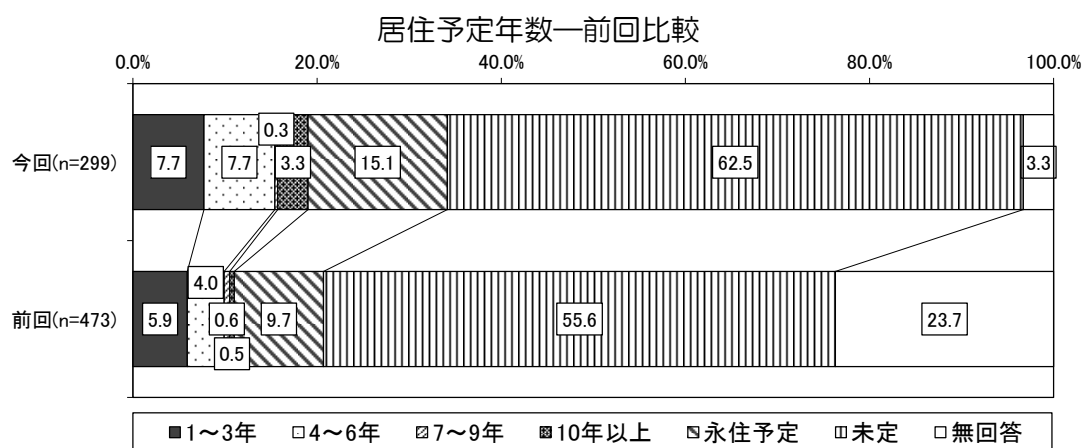


(2) 草津市での居住年数予定

問 7 これから草津市には何年お住まいの予定ですか

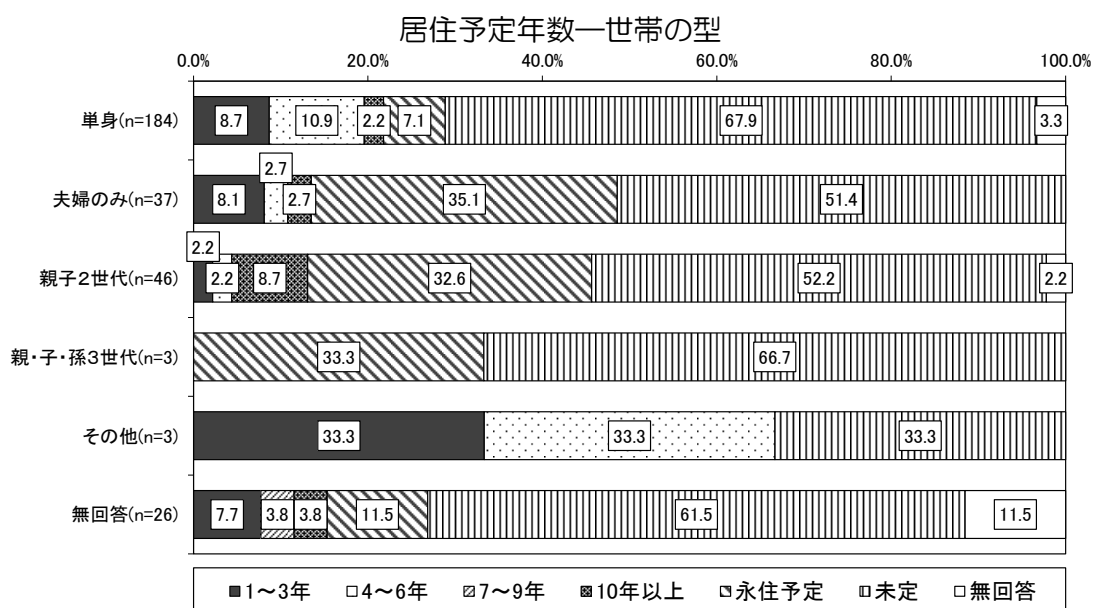
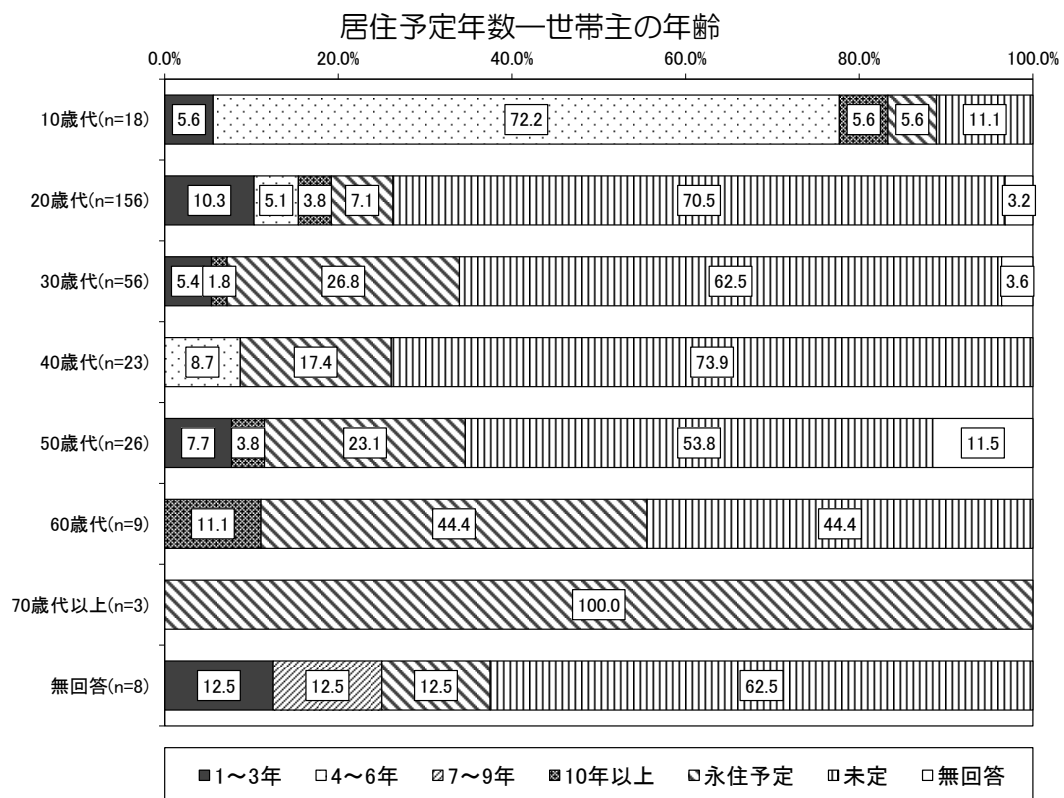
今後の草津市での居住予定年数については、「未定」が 62.5% と最も多く、次いで「永住予定」(15.1%)、「1～3 年」「4～6 年」(同率 7.7%) の順となっています。

前回調査と比較すると、「永住予定」が 5.4 ポイント増加しています。居住予定年数は「1～3 年」(1.8 ポイント)、「4 年～6 年」(3.7 ポイント)、「10 年以上」(2.8 ポイント) 増加し、「7～9 年」は 0.3 ポイント減少しています。



世帯主の年齢でみると、「10 歳代」では「4～6 年」が 72.2%と最も多くなっています。一方で、「20 歳代」～「50 歳代」では「未定」が最も多くなっています。また、「永住予定」では「60 歳代」と「70 歳代以上」が多く、「30 歳代」が他の年代より高くなっています。

世帯の型でみると、すべての世帯の型で全体と同様に「未定」が最も多くなっています。また、「単身」では「4～6 年」、その他の世帯の型では「永住予定」が多く、「夫婦のみ」が 35.1%と最も多くなっています。

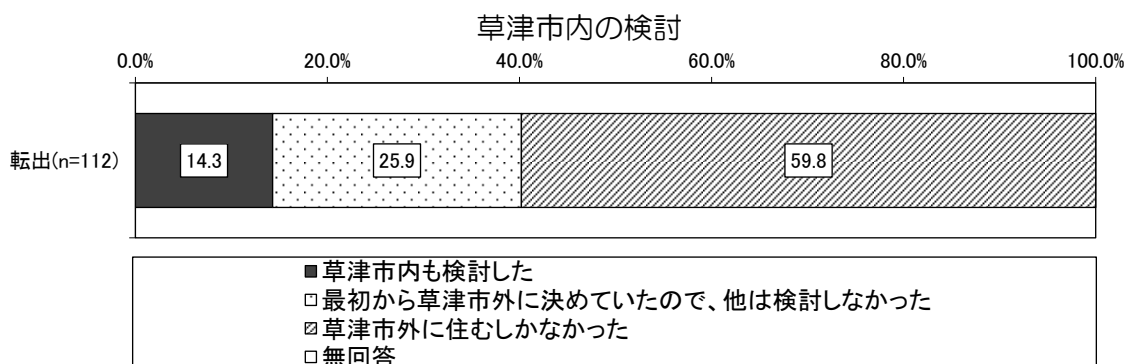


4 転出者について

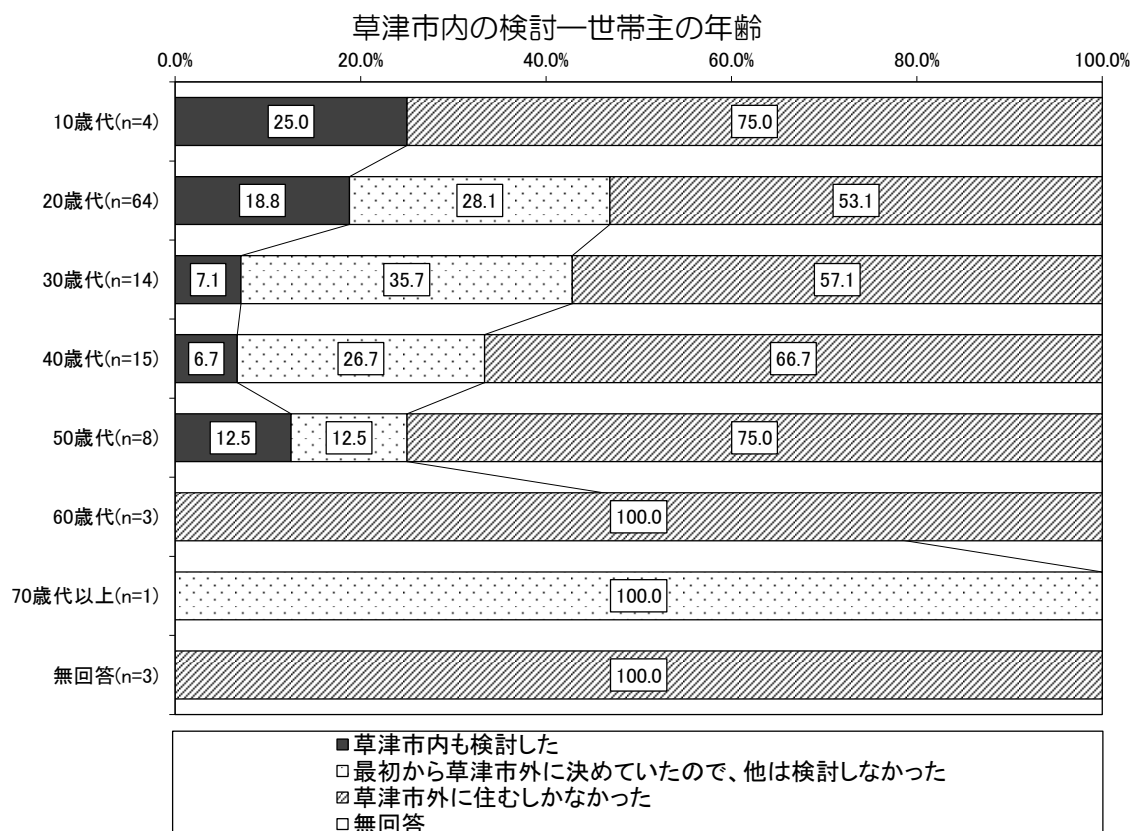
(1) 草津市内の転出先の検討

問8 転居先として草津市内も検討されましたか。(あてはまる番号 1 つに○)

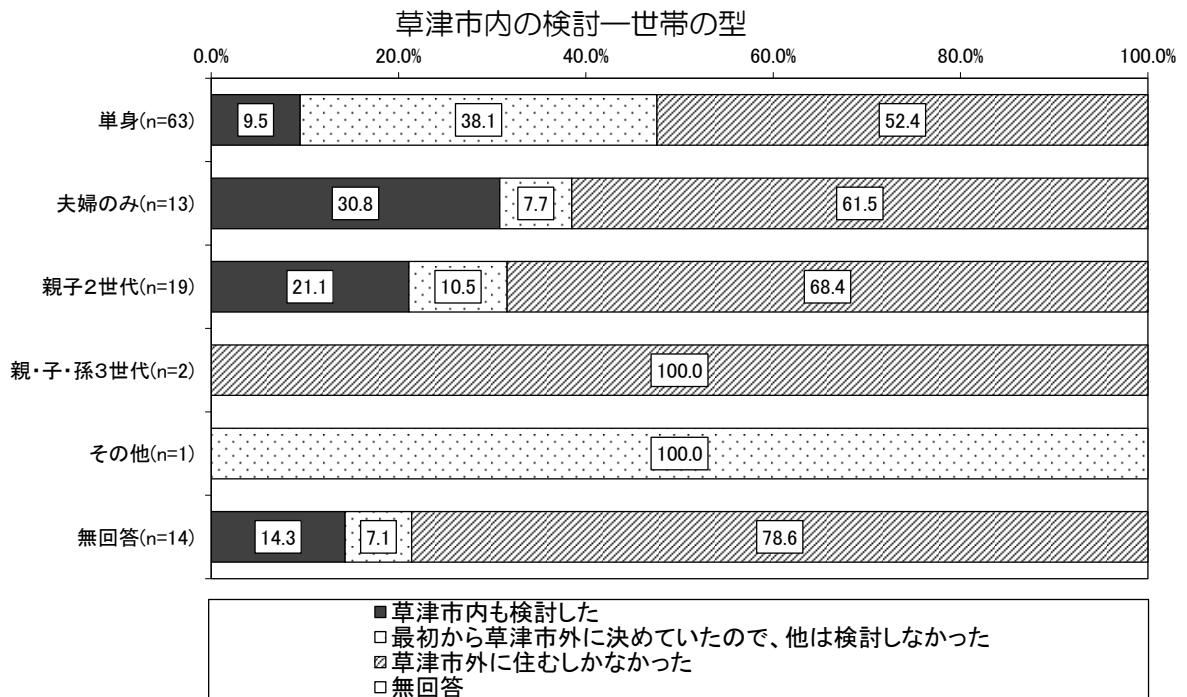
転出先の検討については、「草津市外に住むしかなかった」が59.8%と最も多く、「最初から草津市外に決めていたので、他に検討しなかった」(25.9%)、「草津市内も検討した」(14.3%)の順となっています。



世帯主の年齢でみると、全ての年代で全体と同じく「草津市外に住むしかなかった」が最も多くなっています。また、「10歳代」では「草津市内も検討した」、「30歳代」では「最初から草津市外に決めていたので、他に検討しなかった」が多くなっています。



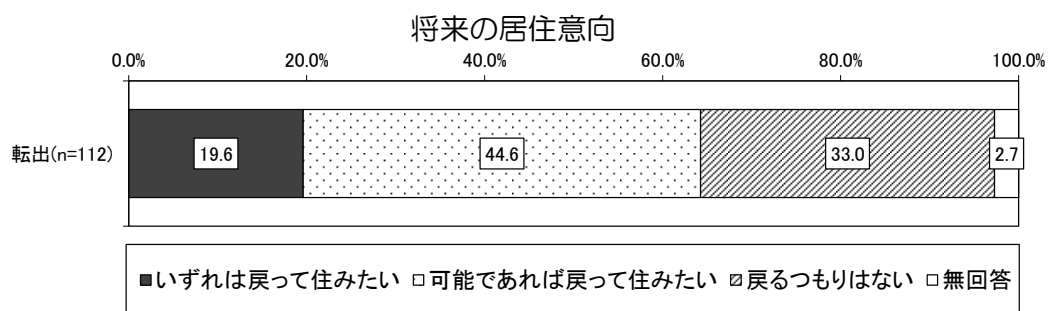
世帯の型でみると、全ての世帯の型で全体と同じく「草津市外に住むしかなかった」が最も多くなっています。また、「最初から草津市外に決めていたので、他は検討しなかった」では「単身」が多く、「草津市内も検討した」では「夫婦のみ」と「親子2世代」が多くなっています。



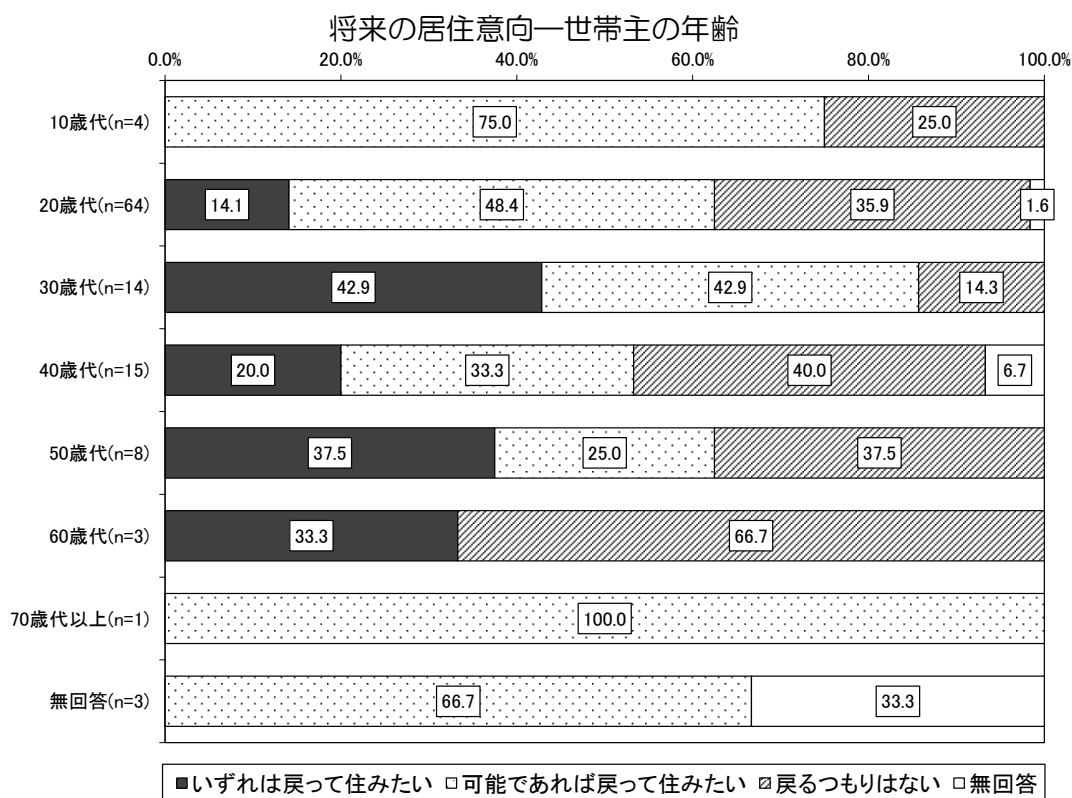
(2) 将来の居留意向

問9 あなたは将来、草津市に戻って住みたいと思いますか。
(あてはまる番号1つに○)

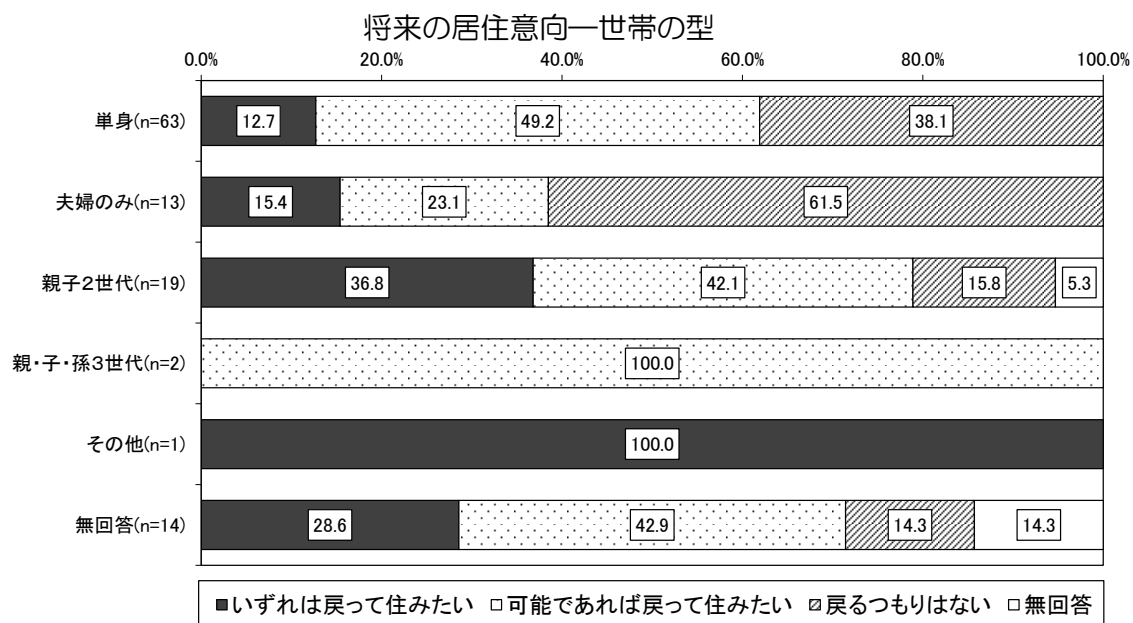
将来の居留意向については、「可能であれば戻って住みたい」が44.6%と最も多く、「戻るつもりはない」(33.0%)、「いずれは戻って住みたい」(19.6%)の順となっています。



世帯主の年齢でみると、「10歳代」と「20歳代」では全体と同じく「可能であれば戻って住みたい」が最も多くなっています。「30歳代」では「いずれは戻って住みたい」(42.9%)が他の年代よりも多くなっています。また、「40歳代」では「戻るつもりはない」(40.0%)が最も多くなっています。



世帯の型でみると、「単身」と「親子2世代」では全体と同じく「可能であれば戻って住みたい」が多くなっています。ただし、「親子2世代」では、「いずれは戻って住みたい」(36.8%)が他の世帯の型よりも多くなっています。また、「夫婦のみ」では「戻るつもりはない」(61.5%)が最も多くなっています。



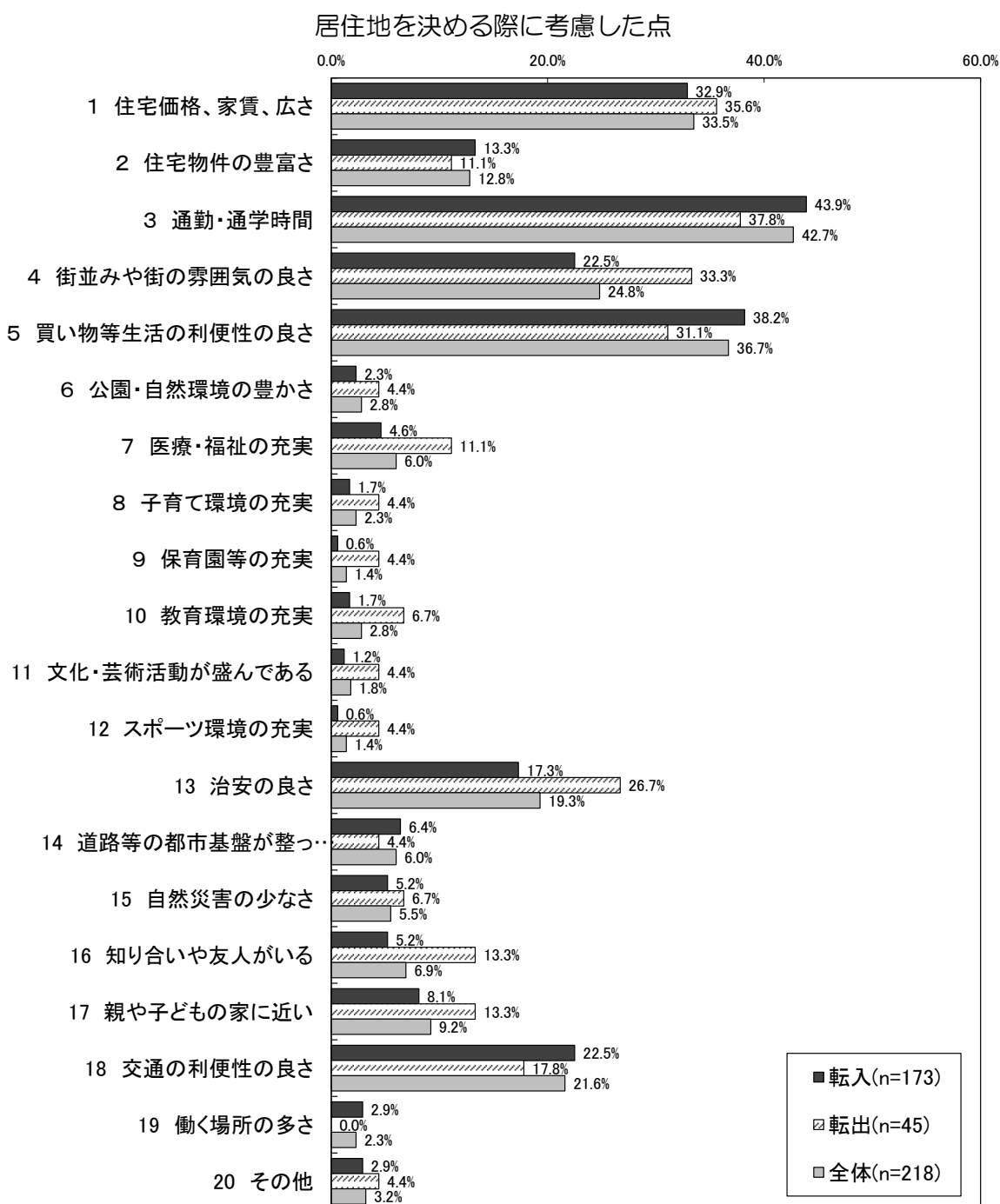
5 居住地の選択について

(1) 居住地域を決める際に考慮した点

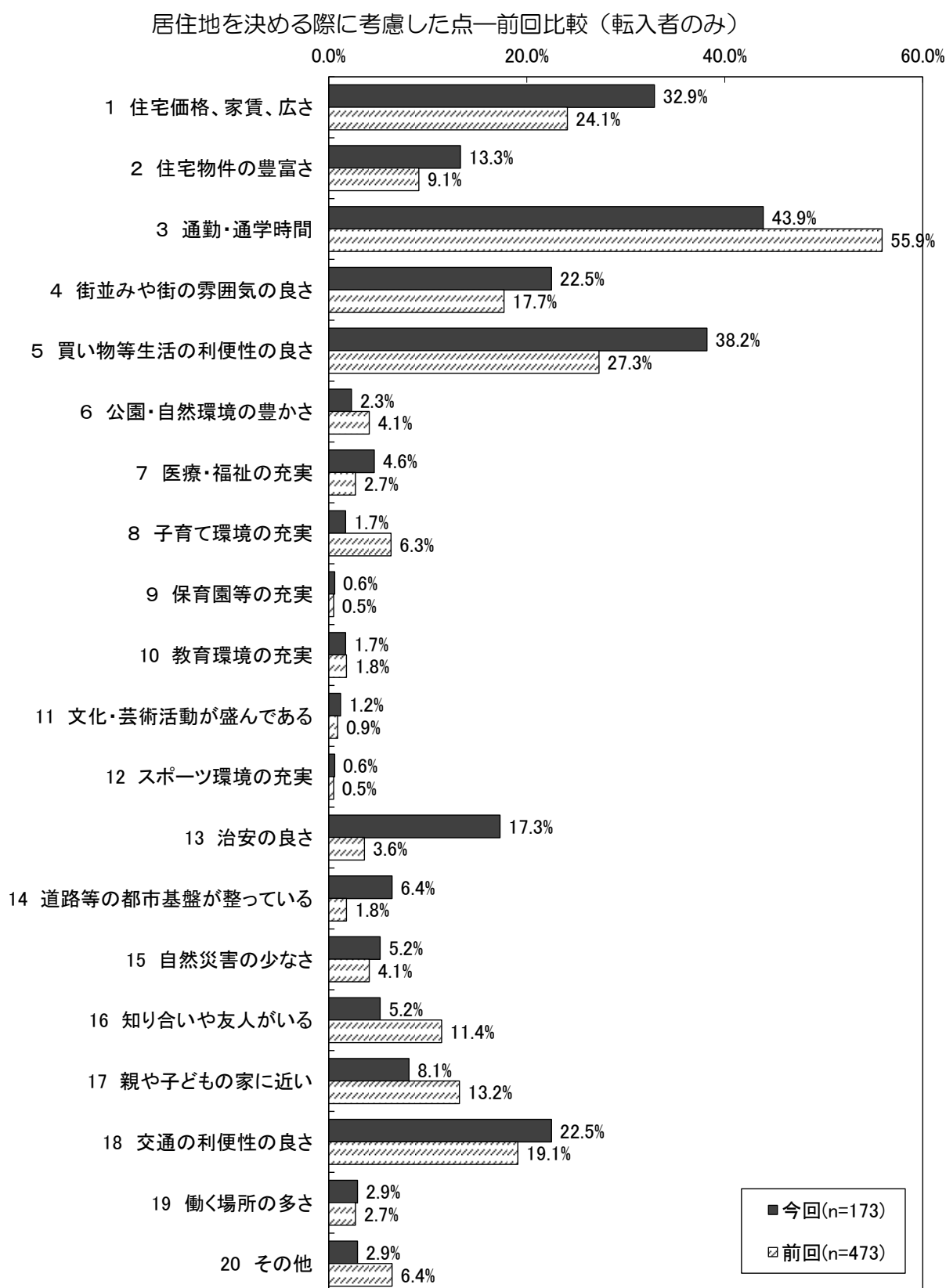
問 10 居住地域を決める際に考慮した点についてお聞きます。
(あてはまる番号すべてに○)

居住地域を決める際に考慮した点については、転入者・転入者のいずれも「通勤・通学時間」、「買い物等生活の利便性の良さ」、「住宅価格、家賃、広さ」が多くなっています。

転入者と転出者を比較すると、「通勤・通学時間」、「買い物等生活の利便性の良さ」、「交通の利便性の良さ」では転入者が多く、「街並みや街の雰囲気の良さ」、「治安の良さ」では転出者が多くなっています。



前回調査と比較すると、「治安の良さ」(13.7 ポイント)、「買い物等生活の利便性の良さ」(10.9 ポイント)、「住宅価格、家賃、広さ」(8.8 ポイント)が増加し、「通勤・通学時間」が 12.0 ポイント減少しています。



世帯主の年齢でみると、「10 歳代」、「20 歳代」、「30 歳代」では「通勤・通学時間」が多くなっており、「50 歳代」、「60 歳代」、「70 歳代以上」では「買い物等生活の利便性の良さ」が多くなっています。

世帯の型でみると、「単身」では「通学・通勤時間」が、「夫婦のみ」では「買い物等生活の利便性の良さ」が多くなっています。

居住地を決める際に考慮した点—世帯主の年齢

	1 住宅価格、家賃、広さ	2 住宅物件の豊富さ	3 通勤・通学時間	4 街並みや街の雰囲気の良さ	5 買い物等生活の利便性の良さ	6 公園・自然環境の豊かさ	7 医療・福祉の充実	8 子育て環境の充実	9 保育園等の充実	10 教育環境の充実
10歳代(n=11)	45.5%	9.1%	72.7%	18.2%	45.5%	-	-	-	-	-
20歳代(n=118)	41.5%	13.6%	45.8%	28.8%	35.6%	5.1%	5.9%	2.5%	0.8%	2.5%
30歳代(n=41)	24.4%	4.9%	43.9%	19.5%	36.6%	-	2.4%	-	2.4%	-
40歳代(n=20)	15%	15%	35%	15%	30%	-	10%	10%	5%	10%
50歳代(n=14)	7.1%	-	14.3%	7.1%	28.6%	-	-	-	-	7.1%
60歳代(n=5)	40%	60%	20%	80%	80%	-	60%	-	-	-
70歳代以上(n=3)	33.3%	-	-	33.3%	33.3%	-	-	-	-	-
無回答(n=6)	33.3%	50%	50%	16.7%	50%	-	-	-	-	-
全体(n=218)	33.5%	12.8%	42.7%	24.8%	36.7%	2.8%	6%	2.3%	1.4%	2.8%

	11 文化・芸術活動が盛んである	12 スポーツ環境の充実	13 治安の良さ	14 道路等の都市基盤が整っている	15 自然災害の少なさ	16 知り合いや友人がいる	17 親や子どもの家に近い	18 交通の利便性の良さ	19 働く場所の多さ	20 その他	無回答
10歳代(n=11)	-	-	27.3%	-	-	-	9.1%	36.4%	-	-	27.3%
20歳代(n=118)	3.4%	1.7%	21.2%	5.9%	5.9%	9.3%	6.8%	17.8%	1.7%	2.5%	39.8%
30歳代(n=41)	-	-	17.1%	4.9%	-	4.9%	2.4%	19.5%	2.4%	2.4%	41.5%
40歳代(n=20)	-	-	20%	5%	5%	-	25%	45%	5%	-	40%
50歳代(n=14)	-	-	7.1%	-	-	-	7.1%	7.1%	-	7.1%	64.3%
60歳代(n=5)	-	20%	40%	60%	80%	20%	60%	60%	20%	20%	-
70歳代以上(n=3)	-	-	-	-	-	33.3%	-	-	-	33.3%	33.3%
無回答(n=6)	-	-	-	-	-	-	16.7%	16.7%	-	-	33.3%
全体(n=218)	1.8%	1.4%	19.3%	6%	5.5%	6.9%	9.2%	21.6%	2.3%	3.2%	39.9%

(無回答を除く上位1位をハッチング)

居住地を決める際に考慮した点—世帯の型

	1 住宅価格、家賃、広さ	2 住宅物件の豊富さ	3 通勤・通学時間	4 街並みや街の雰囲気の良さ	5 買い物等生活の利便性の良さ	6 公園・自然環境の豊かさ	7 医療・福祉の充実	8 子育て環境の充実	9 保育園等の充実	10 教育環境の充実
単身(n=127)	35.4%	11.8%	44.9%	25.2%	37.8%	2.4%	5.5%	0.8%	-	-
夫婦のみ(n=36)	30.6%	11.1%	36.1%	38.9%	41.7%	2.8%	8.3%	-	2.8%	2.8%
親子2世代(n=34)	23.5%	14.7%	38.2%	17.6%	23.5%	5.9%	8.8%	11.8%	5.9%	14.7%
親・子・孫3世代(n=1)	-	-	-	-	100%	-	-	-	-	-
その他(n=3)	-	-	33.3%	-	-	-	-	-	-	-
無回答(n=17)	52.9%	23.5%	52.9%	11.8%	47.1%	-	-	-	-	-
全体(n=218)	33.5%	12.8%	42.7%	24.8%	36.7%	2.8%	6%	2.3%	1.4%	2.8%

	11 文化・芸術活動が盛んである	12 スポーツ環境の充実	13 治安の良さ	14 道路等の都市基盤が整っている	15 自然災害の少なさ	16 知り合いや友人がいる	17 親や子どもの家に近い	18 交通の利便性の良さ	19 働く場所の多さ	20 その他	無回答
単身(n=127)	1.6%	1.6%	20.5%	6.3%	4.7%	3.9%	3.9%	20.5%	2.4%	3.9%	43.3%
夫婦のみ(n=36)	-	-	22.2%	5.6%	11.1%	11.1%	19.4%	19.4%	5.6%	2.8%	27.8%
親子2世代(n=34)	5.9%	2.9%	20.6%	5.9%	5.9%	11.8%	20.6%	26.5%	-	2.9%	44.1%
親・子・孫3世代(n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他(n=3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7%
無回答(n=17)	-	-	5.9%	5.9%	-	11.8%	5.9%	29.4%	-	-	29.4%
全体(n=218)	1.8%	1.4%	19.3%	6%	5.5%	6.9%	9.2%	21.6%	2.3%	3.2%	39.9%

(無回答を除く上位1位をハッチング)

6 今後の草津市への期待について

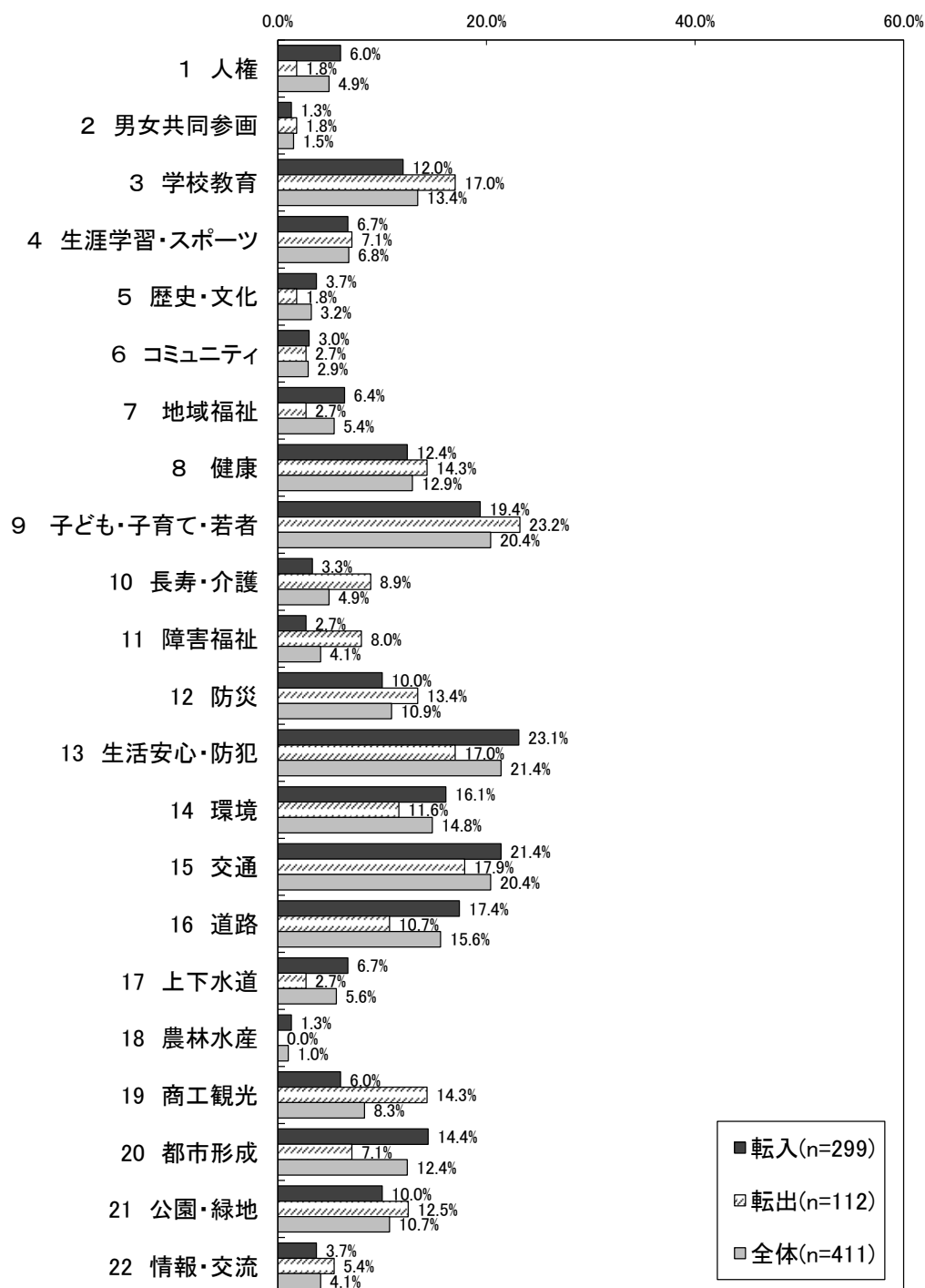
(1) 草津市に期待する分野

問 11 今後、草津市に期待する分野は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

今後、草津市に期待する分野については、転入者・転入者のいずれも「子ども・子育て・若者」、「生活安心・防犯」、「交通」が多くなっています。

転入者と転出者を比較すると、「都市形成」、「生活安心・防犯」などでは転入者が多く、「商工観光」、「学校教育」などでは転出者が多い傾向にあります。

草津市に期待する分野



世帯主の年齢でみると、「10 歳代」、「20 歳代」では「生活安心・防犯」が、「30 歳代」では「子ども・子育て・若者」が多くなっています。

世帯の型でみると、「単身」では「交通」が、「夫婦のみ」、「親子 2 世代」、「親・子・孫 3 世代」では「子ども・子育て・若者」が多くなっています。

期待する分野—世帯主の年齢

	1 人権	2 男女共同参画	3 学校教育	4 生涯学習・スポーツ	5 歴史・文化	6 コミュニティ	7 地域福祉	8 健康	9 子ども・子育て・若者	10 長寿・介護	11 障害福祉
10歳代(n=22)	-	-	9.1%	18.2%	4.5%	-	4.5%	18.2%	22.7%	-	4.5%
20歳代(n=220)	5%	1.4%	11.8%	8.2%	2.7%	3.2%	5.5%	13.2%	18.2%	3.2%	3.2%
30歳代(n=70)	2.9%	-	21.4%	1.4%	1.4%	1.4%	-	10%	35.7%	1.4%	1.4%
40歳代(n=38)	2.6%	-	13.2%	5.3%	-	-	5.3%	7.9%	13.2%	7.9%	2.6%
50歳代(n=34)	8.8%	2.9%	8.8%	2.9%	8.8%	5.9%	8.8%	20.6%	8.8%	8.8%	5.9%
60歳代(n=12)	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	25%	16.7%	33.3%	25%	25%
70歳代以上(n=4)	-	-	-	-	-	-	25%	-	-	75%	25%
無回答(n=11)	9.1%	-	18.2%	-	-	-	-	9.1%	18.2%	-	9.1%
全体(n=411)	4.9%	1.5%	13.4%	6.8%	3.2%	2.9%	5.4%	12.9%	20.4%	4.9%	4.1%

	12 防災	13 生活安心・防犯	14 環境	15 交通	16 道路	17 上下水道	18 農林水産	19 商工観光	20 都市形成	21 公園・緑地	22 情報・交流	無回答
10歳代(n=22)	18.2%	27.3%	22.7%	22.7%	-	4.5%	-	-	13.6%	4.5%	-	36.4%
20歳代(n=220)	8.2%	22.3%	12.7%	18.2%	16.8%	5.5%	0.5%	9.5%	15.9%	10%	3.6%	37.7%
30歳代(n=70)	11.4%	18.6%	15.7%	27.1%	15.7%	7.1%	-	5.7%	8.6%	15.7%	7.1%	41.4%
40歳代(n=38)	10.5%	15.8%	10.5%	23.7%	10.5%	-	-	7.9%	2.6%	10.5%	2.6%	50%
50歳代(n=34)	11.8%	20.6%	20.6%	17.6%	17.6%	8.8%	2.9%	11.8%	11.8%	2.9%	2.9%	52.9%
60歳代(n=12)	50%	41.7%	33.3%	33.3%	41.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%
70歳代以上(n=4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25%
無回答(n=11)	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	9.1%	-	-	-	-	27.3%	-	36.4%
全体(n=411)	10.9%	21.4%	14.8%	20.4%	15.6%	5.6%	1%	8.3%	12.4%	10.7%	4.1%	39.9%

(無回答を除く上位 1 位をハッチング)

期待する分野—世帯の型

	1 人権	2 男女共同参画	3 学校教育	4 生涯学習・スポーツ	5 歴史・文化	6 コミュニティ	7 地域福祉	8 健康	9 子ども・子育て・若者	10 長寿・介護	11 障害福祉
単身(n=247)	3.6%	1.6%	7.3%	8.1%	3.2%	3.2%	4.9%	13.8%	14.2%	4%	2.4%
夫婦のみ(n=50)	8%	2%	28%	4%	4%	2%	4%	18%	40%	4%	4%
親子 2 世代(n=65)	7.7%	1.5%	30.8%	6.2%	1.5%	4.6%	9.2%	10.8%	32.3%	9.2%	6.2%
親・子・孫 3 世代(n=5)	20%	-	-	-	20%	-	20%	-	40%	20%	20%
その他(n=4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答(n=40)	20%	-	-	-	20%	-	20%	-	40%	20%	20%
全体(n=411)	4.9%	1.5%	13.4%	6.8%	3.2%	2.9%	5.4%	12.9%	20.4%	4.9%	4.1%

	12 防災	13 生活安心・防犯	14 環境	15 交通	16 道路	17 上下水道	18 農林水産	19 商工観光	20 都市形成	21 公園・緑地	22 情報・交流	無回答
単身(n=247)	10.5%	21.9%	13.8%	22.3%	15.8%	5.7%	1.2%	7.3%	15.8%	8.9%	4.5%	40.1%
夫婦のみ(n=50)	20%	32%	20%	28%	22%	8%	-	14%	12%	14%	10%	32%
親子 2 世代(n=65)	12.3%	15.4%	13.8%	20%	13.8%	6.2%	1.5%	9.2%	6.2%	15.4%	1.5%	40%
親・子・孫 3 世代(n=5)	-	-	20%	-	-	-	-	-	-	-	-	20%
その他(n=4)	-	25%	-	-	-	-	-	-	25%	-	-	75%
無回答(n=40)	-	-	20%	-	-	-	-	-	-	-	-	47.5%
全体(n=411)	10.9%	21.4%	14.8%	20.4%	15.6%	5.6%	1%	8.3%	12.4%	10.7%	4.1%	39.9%

(無回答を除く上位 1 位をハッチング)

(2) まちづくりについてのアイデア等（自由記述）

問 12 草津市に期待することや取り組んでほしい事業、これからのまちづくりについてのアイデアなど、御提案がありましたら、具体的に御記入ください。

自由記述による意見の一部を、以下テーマ別に紹介します（一部、文を修正・抜粋）。

カテゴリー	ご意見	転入・転出
生涯学習・スポーツ	国スポ・障スポの会場として期待している。	転出
健康	コロナワクチン被害者の救済、子育て支援、減税等に取り組んでほしい。	転入
子ども・子育て・若者	子育て世帯の負担減に取り組んでほしい。	転入
	子育てをしやすいように取り組んでほしい。	
	保育園の入園が厳しいと聞いている。希望通り、受け入れしてもらえるようお願い致したい。	
	子育て政策の充実に取り組んでほしい。	
	若者、子育て世帯への手厚い行政サービスに取り組んでほしい。	
	双子の子育て支援を利用したが希望する夕方には来てもらえなかったので、利用時間の幅が増えると便利だと思った。	転出
	生まれてから 22 歳になるまでずっと草津市に住んでいた。本当にここ数年で暮らしやすくなっていると思うので、このまま住みやすいまち（特に子供が増えているのでそのあたりを）であり続けてほしい。	
	滋賀大付属小学校への入学可能区域の拡大（草津市老上西学区）を働きかけてほしい。	
環境	ゴミ分別が面倒。大字までのバス 0 円にしてほしい。市役所、土日もやってほしい。物価高い。	転入
	ゴミ回収の頻度が少ない、缶、ペットボトルなど月 1 回は少ない。	
	大型ごみの回収日を作ってほしい。	転出
交通	交通が不便なので、ミニバスなど安価で気軽に乗れるバスがあると助かる。	転入
	バスの利便性向上、交通量をもう少し減らしてほしい（公共交通機関を充実させ、渋滞が発生しにくいようにしてほしい。）。	
	東京のように車がなくても住めるようバス等の公共交通機関の発展。バス停や本数を増やしてほしい。価格も同一で。	
	バスがもっとほしい。	転出

カテゴリー	ご意見	転入・転出
道路	自転車と歩行者を区別している点線が道に危険性を感じる。	転入
	前に草津市に住んでいた時、信号のない横断歩道を横断中によそ見運転の車に轢かれたので、再発防止のためにも高齢者や子どもの多い地域には信号機を増やしてほしい（事故のあった横断歩道のところには設置されている。）。	
	渋滞対策をしてほしい。	
	交通渋滞の緩和をしてほしい。	
	交通渋滞の解消をしてほしい。	
	仕事で来る毎に思いますが交通量が多く、混雑する為多くの時間を消費してしまう。また事故も起こりやすいと思う。運輸が通りやすい道路、市民が通りやすい道路と分かれると住みやすいと思う。	
	一号線に入る道の渋滞の軽減をしてほしい。	転出
商工観光	高齢者・子どもが集える場所が少ない気がするので、特に駅前に作ってほしい。駅前の飲食店が居酒屋に偏っているので、地域住民が気軽に食事できる所を増やしてほしい。	転入
	草津駅前、商店街に活気がなく驚いた。高齢化もあるだろうが何か対策した方が良くと思う。	転出
都市形成	草津市にしかできないまちづくり。びわ湖をもっと近くに感じられる様な街①アクセス②水上、周辺商業施設③湖岸の整備（法、ごみ等）④県・国との協議窓口設置⑤浄水施設を市民が訪れる場所にしてほしい。	転出
	どんどんチャレンジする都市であってほしい。	
	とても住みやすいまちであった。全体的にバランスのとれたまちだと思うので、このまま発展する事を願っている。	
その他	草津市だけでなく滋賀県政に言えることだが、交通税、森林環境税導入の即時撤廃をしてほしい。導入すればさらに国税が追加で作られるから。	転入
	都市ガスをマンションにも配備してほしい。	
	住み始めたばかりなのでまだ分かりません。	
	家賃高い	転出

7 自由記述

問13 その他、草津市の将来について御意見などがありましたら、自由に御記入ください。

自由記述による意見の一部を、以下テーマ別に紹介します（一部、文を修正・抜粋）。

カテゴリー	ご意見	転入・転出
生涯学習・スポーツ	テニスコートやフットサル場を増やし、スポーツに力を入れてほしい。	転入
子ども・子育て・若者	子どもの多いまちづくりをしてほしい。	転入
	子どもが多い世帯でも暮らしやすいような政策をしてほしい。	
	子どもの人口が増えていて、老上西学区も駅までの距離もさほどなく、大津市と近い。国立小学校への入学可能区域に含まれれば、より充実した教育環境となり、転入者も増えると思う。ぜひよろしくをお願いしたい。	転出
交通	必要のないものは撤廃してほしい。	転入
	電車や地下鉄が増えたらよい。	転出
	JRの新快速も停車する住みやすいまちであった。	
	公共の移動手段としてバスやタクシーなど従来の物だけでなく、ライドシェアなど新たな制度に取り組んでほしい。	
道路	道路・信号の混みを解消してほしい。	転入
商工観光	大きな施設ができて、いろいろな人との交流が深まればよいと思う。	転入
	大きな道路に出ないと何もない。駅まで行かないと特に何もない。スーパーがもっと近くにあってほしい。小さい。	
	観光客が訪れる草津市にしてほしい。歴史・文化・芸術など、継続的に訪れたいまちになればよいと思う。	
	街あかりを復活させてほしい。とても好きなイベントであった。	転出
都市形成	年々人口も増加しているので、草津駅の本舎を改築または綺麗にしてほしい。	転入
	若者が住みやすいまちであると思う	
	初めて来た時から活気あるまちだと思った。よりよいまちづくりに期待している。	
	住む人が増えても、住みやすい市であり続けてほしい。	
行財政マネジメント	市役所が使いにくい。別の自治体では、入口から入った瞬間に案内の人が来て、用件を確認し、案内してくれた。改善してほしい。	転入

カテゴリー	ご意見	転入・転出
その他	仕事の都合で引っ越しして来たばかりで、まだ特にならない。	転入
	草津市が大好きであり、転出せざるを得なかったが、本当ならずっと住みたいまちであった。これからも住みやすい、暮らしやすい草津市であることを願っている。	転出
	いつまでも沢山の人が住み良い市であってほしい。	
	大学で草津市に 4 年間居住したが、好きなまちであった。	
	すごく住みやすいまちであった。	

8 調査結果のまとめ

転入・転出について

- ・回答者の居住地については、「転入」（72.7%）が「転出」（27.3%）を上回っており、転入の主な理由としては、「仕事上の都合」、「家庭の都合」、「学校上の都合」が多くなっています。
- ・一方で、草津市に転出した40歳代の世帯主は他の世代に比べて多い傾向にあり、転出の理由は「仕事上の都合」、「家庭の都合」、「住宅の都合」の回答が多くなっています。

世帯について

- ・世帯主の年齢は「20歳代」が最も多く、次いで「30歳代」、「40歳代」となっており、転入者は転出者に比べて「30歳代」が多く、「40歳代」が少なくなっています。
- ・転入者・転出者ともに単身世帯が多くなっており、特に、「10歳代」、「20歳代」では7割以上が単身世帯となっています。

転入者について

- ・転入先の検討について、全体としては「草津市に住むしかなかった」、「最初から草津市に決めていたので、他は検討しなかった」が多くなっている一方で、30歳代、40歳代の世帯主は他の世代に比べて「他の市町村も探した」との回答が高くなっています。
- ・転入先について他に検討した都道府県としては、滋賀県内が最も多くなっており、大津市、栗東市、守山市が多くなっています。
- ・今後の居住予定年数については、「永住予定」（15.1%）、「1～3年」（7.7%）、「4～6年」（7.7%）となっており、夫婦のみ世帯、親子2世代世帯、親・子・孫3世代で「永住予定」の割合が高くなっています。

転出者について

- ・転出先の検討について、全体としては「草津市外に住むしかなかった」が最も多い一方で、単身世帯では他の世帯に比べ「最初から草津市外に決めていたので、他に検討しなかった」が多くなっています。
- ・将来の居住意向について、「可能であれば戻って住みたい」が最も高くなっています。

居住地の選択に考慮した点

- ・居住地域を決める際に考慮した点については、「通勤・通学時間」、「買い物等生活の利便性の良さ」、「住宅価格、家賃、広さ」が多くなっています。
- ・前回調査に比べて「住宅価格、家賃、広さ」、「街並みや街の雰囲気の良さ」、「買い物等生活の利便性の良さ」、「治安の良さ」、「交通の利便性の良さ」などの項目が増加傾向にあります。

草津市への期待

- ・草津市に期待する分野については、「子ども・子育て・若者」、「生活安心・防犯」、「交通」が多くなっています。

IV 調査票

Ⅲ 調査票

草津市へ転入・草津市から転出される方へ －アンケート調査に御協力をお願いします－

問1 転入・転出について、あてはまる方に○をしてください。

1 転入 2 転出

問2 転入・転出の主な理由は何ですか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 仕事上の都合（就職・転勤・転職・退職など） | 2 学校上の都合（入学・進学・転校など） |
| 3 家庭の都合（結婚・親の介護など） | 4 子育て環境の向上 |
| 5 健康上の都合（施設入所、通院、病気療養など） | 6 住宅の都合（広さ、持ち家の購入など） |
| 7 その他（ ） | |

問3 世帯主様（世帯を代表される方）の年齢をお聞きます。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代以上 | |

問4 世帯の型は次のどれですか。（あてはまる番号1つに○）

また、3、4、5を選択した人は、18歳未満の子ども、同居の高齢者の有無をお答えください。

- | | |
|----------|------------|
| 1 単身 | 2 夫婦のみ |
| 3 親子2世代 | 4 親・子・孫3世代 |
| 5 その他（ ） | |

3、4、5を選択した人は
それぞれ（はい・いいえ）の
どちらかに○をつけてください。

18歳未満の子どもはいますか （はい・いいえ）
65歳以上の人はいますか （はい・いいえ）

問5 お住まいのある、または、お住まいになられていた小学校区はどちらですか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|---------------------|-----------|-----------|
| 1 志津小学校区 | 2 志津南小学校区 | 3 草津小学校区 |
| 4 草津第二小学校区 | 5 渋川小学校区 | 6 矢倉小学校区 |
| 7 老上小学校区 | 8 老上西小学校区 | 9 玉川小学校区 |
| 10 南笠東小学校区 | 11 山田小学校区 | 12 笠縫小学校区 |
| 13 笠縫東小学校区 | 14 常盤小学校区 | |
| 15 わからない（町名または町内会名） | | |

【転入される方にお聞きます】

問6 転入先として草津市以外の市区町村も検討されましたか。（あてはまる番号1つに○）

- | |
|---|
| 1 他の市区町村も探した
（ ） 都道府県
（ ） 市区町村 |
| 2 最初から草津市に決めていたので、
他は検討しなかった |
| 3 草津市に住むしかなかった
（社宅が草津市にある、
同居する家族が住んでいる等） |

問7 これから草津市には何年お住まいの予定ですか。

- | |
|---------|
| 1 （ ） 年 |
| 2 永住予定 |
| 3 未定 |

WEBでの回答はこちらから

<https://questant.jp/q/KusatsuR5>

ID 番号:《個別 ID》



・サイトで上記7桁のID番号を
入力してください。

・ID番号により個人が特定され
ることはありません。

【転出される方にお聞きます】

問8 転居先として草津市内も検討されましたか。
（あてはまる番号1つに○）

- | |
|---|
| 1 草津市内も検討した |
| 2 最初から草津市外に決めていたので、
他は検討しなかった |
| 3 草津市外に住むしかなかった
（社宅が草津市外にある、
同居する家族が住んでいる等） |

問9 あなたは将来、草津市に戻って住みたいと
思いますか。（あてはまる番号1つに○）

- | |
|-----------------|
| 1 いずれ戻って住みたい |
| 2 可能であれば戻って住みたい |
| 3 戻るつもりはない |

【問6で「1」「2」と回答された方、問8で「1」「2」と回答された方にお聞きます。】

問10 居住地域を決める際に考慮した点についてお聞きます。（あてはまる番号すべてに○）

1 住宅価格、家賃、広さ	2 住宅物件の豊富さ	3 通勤・通学時間
4 街並みや街の雰囲気の良い	5 買い物等生活の利便性の良さ	6 公園・自然環境の豊かさ
7 医療・福祉の充実	8 子育て環境の充実	9 保育園等の充実
10 教育環境の充実	11 文化・芸術活動が盛んである	12 スポーツ環境の充実
13 治安の良さ	14 道路等の都市基盤が整っている	15 自然災害の少なさ
16 知り合いや友人がいる	17 親や子どもの家に近い	18 交通の利便性の良さ
19 働く場所の多さ	20 その他（ ）	

問11 今後、草津市に期待する分野は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1 人権	2 男女共同参画	3 学校教育
4 生涯学習・スポーツ	5 歴史・文化	6 コミュニティ ※1
7 地域福祉 ※2	8 健康	9 子ども・子育て・若者
10 長寿・介護	11 障害福祉	12 防災
13 生活安心・防犯	14 環境	15 交通
16 道路	17 上下水道	18 農林水産
19 商工観光	20 都市形成 ※3	21 公園・緑地
22 情報・交流 ※4		

- ※1 コミュニティ…市民自治の確立、基礎的コミュニティの活性化、市民公益活動の促進、多文化共生社会の構築など
 ※2 地域福祉…福祉の総合的な相談・支援の充実、「地域力」のあるまちづくり（地域における助け合い・支え合いの推進）など
 ※3 都市形成…都市と住環境の質・魅力向上、まちなかの魅力向上と地域再生の推進、良好な景観の保全と創出など
 ※4 情報・交流…まちづくり情報の提供の充実、多様な連携・交流の展開など

問12 草津市に期待することや取り組んでほしい事業、これからのまちづくりについてのアイデアなど、御提案がありましたら、具体的に御記入ください。

問13 その他、草津市の将来について御意見などがありましたら、自由に御記入ください。

御協力いただき誠にありがとうございました。回答いただいたアンケート用紙は、指定の回収箱へお入れください。

（問い合わせ先） 草津市 総合政策部 企画調整課 電話（077）561-2320（直通）